

2021年度 公務員試験

合格体験記

地方上級／国家一般職(大卒)／国税専門官／
財務専門官／裁判所一般職(大卒)／労働基準監督官A／市役所



TACに全てある。
あとは自分が
本気を出すだけ。

合格の近道は
TACにあり！

最後まで
諦めずに！

努力は
裏切らない！

TACを信じて
努力すること

「今」が、
本気になる時

今日の努力が
明日の自信に
つながる

資格の学校
TAC

本気で公務員試験(大卒程度)に

最終合格 したいなら、

TAC・w セミナー!

▼2020年度公務員講座生^{※1} 公務員試験最終合格先一覧

国家公務員(大卒程度)

地方公務員(大卒程度)

2,254名

2,651名

国家総合職(大卒)	大卒レベル試験	118名
国家総合職(院卒・行政区分)	大卒レベル試験	15名
国家総合職(教養)	大卒レベル試験	23名
国家総合職(その他)	大卒レベル試験	6名
国家一般職	大卒レベル試験	877名
国税専門官	大卒レベル試験	690名
財務専門官	大卒レベル試験	133名
労働基準監督官	大卒レベル試験	56名
外務専門職	大卒レベル試験	40名
法務省専門職(人間科学)	大卒レベル試験	1名
裁判所総合職	大卒レベル試験	5名
裁判所一般職(大卒)	大卒レベル試験	219名
衆議院事務局一般職(大卒)	大卒レベル試験	5名
参議院事務局総合職	大卒レベル試験	3名
防衛省専門職	大卒レベル試験	26名
自衛隊幹部候補生	大卒レベル試験	23名
航空管制官	大卒レベル試験	4名
皇宮護衛官	大卒レベル試験	4名
食品衛生監視員	大卒レベル試験	2名
海上保安官	大卒レベル試験	2名
農林水産省水産系技術職	大卒レベル試験	2名

特別区I類	大卒レベル試験	459名
東京都I類A	大卒レベル試験	17名
東京都I類B	大卒レベル試験	143名
道府県上級	大卒レベル試験	721名
政令指定都市上級	大卒レベル試験	529名
市町村上級	大卒レベル試験	487名
警視庁職員I類	大卒レベル試験	3名
東京消防庁職員I類事務	大卒レベル試験	2名
警察官(大卒)	大卒レベル試験	128名
消防官(大卒)	大卒レベル試験	162名

国立大学法人等	大卒レベル試験	167名
独立行政法人	大卒レベル試験	2名
その他公務員		28名

2020年度公務員講座生^{※1}
公務員試験最終合格者延べ人数^{※2}

5,102名

※1 公務員講座生とは公務員試験対策講座において、目標年度に合格するために必要と考えられる、講義、演習、論文対策、面接対策等をパッケージ化したカリキュラムの受講生です。単科講座や公開模試のみの受講生は含まれておりません。

※2 同一の方が複数の試験種に合格している場合は、それぞれの試験種に最終合格者としてカウントしています。(実合格者数は3,230名です。)

*2021年4月19日時点で、調査にご協力いただいた方の人数です。

合格への近道は、志望先の試験に最終合格 できる学校を選ぶこと。

志望先の公務員試験に最終合格するためには、1次試験(筆記)と2次試験(人物)の総合的な指導が受けられる=志望先に最終合格するためのノウハウが蓄積されている学校を選ぶことが大切です。本気で今回の受験で**大卒程度**の公務員試験の**最終合格**を勝ち取りたいなら、迷わずTAC・Wセミナーです。

▶ 2020年度公務員講座生^{※1} 自治体別最終合格者占有率^{※3}

最終合格者の**3.9人に1人**がTAC・Wセミナー生です!

特別区I類【事務】

①公務員講座生^{※1}最終合格者数^{※2} 443名 / ②全最終合格者数 1,741名 = **25.4%**

最終合格者の**3.0人に1人**がTAC・Wセミナー生です!

東京都I類B【行政(一般方式)】^{※4}

①公務員講座生^{※1}最終合格者数^{※2} 116名 / ②全最終合格者数 352名 = **33.0%**

3.6人に1人

横浜市

【大卒程度事務】

①105名/②381名=
27.6%

3.3人に1人

川崎市

【大卒程度行政事務】

①64名/②209名=
30.6%

4.3人に1人

神奈川県

【I種行政^{※5}】

①61名/②264名=
23.1%

3.4人に1人

さいたま市

【大卒程度行政事務^{※6}】

①67名/②225名=
29.8%

3.0人に1人

埼玉県

【上級一般行政】

①110名/②333名=
33.0%

3.8人に1人

千葉県

【上級一般行政^{※7}】

①61名/②230名=
26.5%

2.4人に1人

名古屋市

【第I類事務(法律・経済)^{※8}】

①66名/②156名=
42.3%

※1 公務員講座生とは公務員試験対策講座において、目標年度に合格するために必要と考えられる、講義、演習、論文対策、面接対策等をパッケージ化したカリキュラムの受講生です。単科講座や公開模試のみの受講生は含まれておりません。

※2 同一の方が複数の試験種に合格している場合は、それぞれの試験種に最終合格者としてカウントしています。

※3 合格者占有率は「公務員講座生^{※1}」を「各試験の最終合格者総数」で除して算出しています。

※4 東京都I類B最終合格者数は、一般方式のみ的人数です。

※5 神奈川県最終合格者数は「行政(秋季チャレンジ)」を含んだ人数です。

※6 さいたま市最終合格者は、行政事務Aと行政事務Bを合計した人数です。

※7 千葉県最終合格者数は一般行政Aと一般行政Bを合計した人数です。

※8 名古屋市最終合格者数は、法律・経済を合計した人数です。

* 2021年4月19日時点で、調査にご協力いただいた方的人数です。



石田 凌也さん(21)

TAC を信じてコツコツやれば大丈夫！

- * 出身校 明治大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年2月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 ミクロ経済学

- * 最終合格試験種
裁判所一般職（大卒／東京高裁管轄）6位
- 横浜市 特別区I類
- 国家一般職（大卒） 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

公務員を目指した理由は、「安定した職に就きたいから」が5割、「より多くの人の役に立ちたいから」が5割です。きっかけは、実際に公務員試験に合格した部活動の先輩にすすめられたことです。私のような、大したことない理由やきっかけでも、人並みに対策すれば受かります！

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

TACを選んだ理由は、公務員予備校の中で実績が一番良かったからです。良かったところは、Web講義を使えば校舎に行かなくても質の高い講義を受けられるところや、演習や確認テストといった公開模試以外でも目標となるものが多く用意されているところ、面接試験の情報が多く集まっているところです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは切磋琢磨する受講生が多くいるところと駅直結で雨でも濡れずに通える好立地なところです。

担任の富田講師はとても情熱的な方で、自主的に独自ホームルームを開いたり、論文やESの添削をしたり、論文や面接のグループ学習を開いてくれたりしました。コロナ禍ということもあり、私はほぼ全ての筆記対策の講義を自宅でWeb講義を用いて孤独に学習しました。しかし、富田講師の開催するイベントだけは毎回通学して参加することで、講師に励まされ、他の受講生と交流する機会にも恵まれ、モチベーションを保ちながら楽しく試験対策を継続することができました。

☞ 択一試験対策

基本的に、どの科目も講義を受けて問題集の該当箇所を解くことの単純な繰り返しで画期的な学習方法などはありません。そのリズムを身につければ筆記試験は受かると思います。定期的を実施される基本演習に向けて満点を目指し本気で臨むと、間違えた問題を忘れないのでオススメです。

専門試験は多くの科目に触れることが大切です。私の場合、試験直前の三月半ばから経営学の学習を始めましたが、国家一般と国税で満点を取ることができました。自分が得意だと思っている科目の難易度が跳ね上がり本番で解けないことは多々あるので、多くの科目を学習し、リスクを分散させるのが望ましいです。また、自分の得意科目を作れるとよいです。個人的には、民法かミクロ・マクロ経済学のいずれかを得意にできると本番で大失敗はしないと思います。政治系科目は手を付けやすいですが、前述のように難易度が跳ね上がることがあるので頼り過ぎは注意です！

教養科目は短時間でいいので頻繁に触れることが大切です。特に数的処理はすぐに感覚が鈍るので、一問ずつ時間を計って毎日少しずつ演習を重ねました。人文科学と自然科学は、直前期に一気に知識を詰めこんで毎日少しずつ知識が抜けないように演習を重ねれば良いと思います。

☞ 面接試験対策

面接は、典型的なやった分だけ上達するものなので、失敗を恐れずとにかく回数を重ねることが大切です。そうすれば型が身に付き自分の基礎が出来上がります。その際は、TACの模擬面接、各校舎の自主ゼミ等をフル活用してください。私の場合、初めての模擬面接の出来があまりにも酷く、A～E評価のうちDとEの間の評価をもらいましたが、めげずに何度も練習することで面接を比較的得意なものにすることができました。

☞ TAC教材の活用法

TACで配布される講義ノートとV問題集だけで事足ります。難易度と頻出度それぞれでA～Cのランク付けがされているので、優先順位を付けやすいです！市販の参考書を買う暇があるならば、V問題集をより多く回した方が良いと思います。講義を受けたら講義ノートの該当箇所、特に太字などで強調されているところを読み込み、すぐさまV問題集の該当箇所（難易度BやCは後回しでも良い）を解きましょう。正誤と解いた日にちはしっかりと記録し、数日後に、間違えたところを重点的に2回目に取り掛かりましょう。次の講義までに、この工程をこなせば大丈夫です。私の場合、力を入れていた経済系はなるべく難易度Cまで解いて次の講義に臨みましたが、法律系や政治系は難易度AとBのみ解いていました。詳しい指示は担当講師からしていただけたとは思いますが、難易度が高い問題に関しては直前期に詰め込んでも全然間に合うので、先ずは基礎固めからです。

☞ これから受験する人へ

講義やホームルームで指示された通りのことを淡々とこなすのみです。自己流は要らないです！その点、TACは実績があることに加え、校舎での担任カウンセリングやi-supportを用いたオンライン上の質問対応もあるので安心して指示された通りに行動できると思います。

特に年明けになると、やるべきことが山積みになり辛くなります。悩みを共有できる仲間を自主ゼミなどで作れると望ましいです。仲間の存在で精神的に助けられることが何度かありました。辛いのは周りの受験生も同じです。そこで挫けずに食らいつける者が試験を制します。応援しています！



保坂 健人さん(22)

最後まであきらめない！

- * 出身校 中央大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 2年中大本科生 Plus 2020年6月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類
- 国家一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

両親や親戚に公務員が多く、幼い頃から漠然と公務員になりたいと考えていました。大学3年のゼミで金融を学習して、監督当局の立場から、金融行政に携わりたいと思い、公務員になりたいと強く思いました。また、国家公務員も地方公務員も国民・市民のために働くため、とてもやりがいのある魅力的な仕事内容であることも公務員を目指した理由の一つです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

TACを選んだ理由は、知人がTAC横浜校に通い多くの最終合格を勝ち取っていたので、自分もTAC横浜校に通って公務員になりたいと思ったからです。また、大学の近くにも校舎があり、TACに通っている友人が多かったのも選んだ理由の一つです。

良かったところは、TACには確実に合格することができるノウハウや過去の試験に関する情報があるところです。筆記試験対策では、各科目の講師に分かりやすく丁寧に教えて頂きました。講義中は常に重要なポイントや試験での頻出度なども適宜教えてくれるため、集中して講義を受けることができました。また、面接復元シートを利用することで、筆記試験本番の流れや面接試験の質問やポイントが分かるので、対策しやすかったです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

担任の富田講師の存在は大きいです。抽象的で難しい法律科目でも、重要ポイントや頻出事項を重点的に教えてくださるため、理解しやすかったです。また、毎月ホームルームを開催して下さり、いつでも個別相談ができるため、常に高いモチベーションを維持することができました。

また、横浜校は多くの受講生が在籍しているということもおすすめです。直前期になると、論文対策や面接対策のためのグループを作り、みんなで協力して合格を目指すため、メンタルがポロポロになりやすい直前期や合格発表までの期間も、励まし合いながら取り組むことができます。

☞ 択一試験対策

教養試験科目は、早めから対策するとよいと思います。私は数的処理が苦手であったため、文章理解や人文科学・自然科学などの知識系で得点を稼ごうと思い、受験前年の9・10月ぐらいから学習を始めました。特別区は自然科学の出題が多く、神奈川県は人文科学の出題が多いため、志望度の高い人は必ず対策することをおすすめします。数的処理は学習して結果が出るのに時間がかかるため、諦めずに継続して学習するのがポイントです。

V問題集のAランクレベルを完ぺきにすれば問題ないので、B・Cレベルができなくても落ち込む必要はないです。時事対策は、日頃からニュースや新聞を見て習慣化するのが良いと思います。

専門試験対策は、試験種によって対策した方がいい科目数や難易度も違うため、自分の志望先に合わせて対策するのがポイントです。経済系は理論や考え方をちゃんと理解しないとできないため、テキストを何回も見直して計算方法などを徹底的に復習しました。法律系科目は抽象的で苦手な人も多いと思うので、1回で覚えようとするのではなく、何回も繰り返して覚えるのも一つのやり方だと思います。また、国家一般は専門択一の配点が高く、難易度も高いため、政治系の発展講義は必ず受けた方がいいです。特に政治系科目は知っていれば答えられるため、他の受験生と差をつけられる科目だと思います。

☞ 面接試験対策

面接試験対策は筆記試験と同じくらい重要であり、面接で逆転することも可能です。面接対策で重要なことは、①自己分析と②受験先の研究です。自己分析は自分の性格や、自分はどんな人間かを客観的に見る必要があります。これができないと、面接官に質問されたときに答えられなかったり、見当違いの回答をしてしまいます。受験先の研究は、志望動機にもつながりますし、研究することでモチベーションアップにもなります。方法としては、説明会に参加して現職の方に話を聞いたり、大学のキャリアセンターを利用してOB・OG訪問をするといいと思います。自分で調べるだけでは限界があり、生の声を聴くことはとても価値があると思います。

☞ これから受験する人へ

私は夏休み期間中、民間のインターンシップやビジネスコンテストに参加していたため、受験対策がほとんどできず直前期まで不安になりながら学習しなければなりません。しかし、絶対に合格するという強い気持ちを持ちあきらめずに学習し続けました。公務員試験は就職活動期間がとても長いので、モチベーションが保てなくなったり、精神的に不安定になることもあると思います。そんな時は、富田講師やTACの講師に頼ってください。横浜校は親身に相談に乗ってくれる講師がたくさんいます。また、自分はなぜ公務員になりたいのか、公務員になって何をしたいのかを考え、将来の自分を想像して気合を入れることも重要です。公務員試験は就職試験でもあるため、最後まであきらめずに全力で取り組んでください！皆様の合格を願っています！頑張れ!!



福田 和人さん(21)

焦らず常に考え適切な努力を

- * 出身校 明治大学 経営学部 在学中合格
- * 受講コース 1.5年総合本科生 2019年8月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 民法

- * 最終合格試験種
国家一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

将来社会人として生きていく上で仕事もプライベートもバランスよく充実させていくために、労働環境がしっかりと整っている職場で働きたいと思ったのが公務員に興味を持ったキッカケでした。また、民間の就活に比べて公務員試験は努力が結果に表れやすく公平性が高いため、そういった仕組みにも好感を持ち対策を始めました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

知り合いの先輩がTACに通っていて存在を知り、調べてみるとたしか実績もあることがわかったのでTACを選びました。良かったところは、Webでも講義が受講できることです。校舎の講師が合わないと感じる科目や過去によく理解できなかった講義、真夏や真冬、大雨の日など家を出たくないと感じた日に家で講義を受けられたことはとても助かりました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは横浜駅から近く、駅からずっと屋根も続いているので天気の影響を受けずに駅から校舎まで行けることです。また、担任の富田講師はホームルームや時事教材、面談などを通して、学習に必死でなかなか手が回らないところを効率よく適切にフォローしてくれます。必ず力になってくれると思うので、悩みがあったら遠慮なく相談したほうが良いと思います。

☞ 択一試験対策

とにかくバランスよく学習することが大切だと思います。数的処理や経済学、民法など習得するのに時間がかかる人が多い科目もいくつかありますが、公務員試験は決して満点を取らなきゃいけない試験ではありません。わからない問題や苦手な分野にこだわって時間と労力をかけるのはもったいないです。わからない問題があることに焦る気持ちはよくわかりますが、深追いせずなるべく多くの科目をバランスよく学習して、すべての科目である程度の点数が取れる状態にする方が大切だと思います。

3色マーカーや付箋、書き込みなどでテキストを自分なりにアレンジし、何度も何度も繰り返し見直すことで定着させることができます。また、V問題集を解きまくることだけが学習ではなく、講義ノートをじっくり読むだけの方がずっと効率がいい時もあると思うので、常に今の自分にあった学習法を考えながら進んでいくと良いと思います。

☞ 論文・専門記述試験対策

論文は講義ノートの解答例の構成を真似して型にはめながら書いていくのが手取り早いと思います。論文に必要な社会的知識は富田講師が配ってくれる時事クローズアップや講義ノートを読み込んだり、テーマごとにインターネットで調べて軽くメモをストックしていくのが良いと思います。すでに行政が行っている政策をたくさん知っておくことで、それらを応用できたり新しいアイデアを思い付けると思うので、たくさん調べて頭の中にストックしておくべきだと思います。また、色々な人の論文を読むいい機会なので論文グループには参加した方がよいと思います。

☞ 面接試験対策

公務員試験は筆記試験が目玉ですが、就職活動なので面接も当然とても大切です。筆記試験に合格してやり切った感が出て面接対策を疎かにしていると平気ですべて落ちてしまうと思います。そんなにもったいないことはないので、筆記試験が終わっても気を抜かずに対策をした方がよいと思います。具体的には、年明けぐらいから筆記試験が始まる前までには自己分析は終わらせておくと思います。また、華やかな経験が無条件に高得点になるわけではないので、うそをつかずに地味な経験でもよいので等身大の自分でいくべきだと思います。本当のことであればどれだけ深掘されても何の問題も起きません。

そして、最も大切なことは、面接は自分の良さを伝える時間であるという意識をしっかりと持つことだと思います。質問に対してなんとなく返答を続けて面接が終わっても、それは面接を切り抜けたことにはなりません。黙っていたって時間になれば面接は終わります。入室から退室までの自分の一挙手一投足が面接官に対してどういう印象を与えるかをひたすら考えて面接をすると思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験はとにかく長期戦なので最後の採用面接までモチベーションを長く保ち続けることがとても大切です。なので、闇雲に毎日朝から晩まで自分を追い込み続けるのではなく、適度に運動やバイト、友人と遊ぶ時間をつくるなど燃え尽きないように長期的な視野を持って取り組んでいくと良いと思います。常に目的意識をもって考えながら努力していくことが良い結果につながると思います。



宮原 可帆さん(21)

妥協しない・悩みすぎないの精神で！

- * 出身校 明治学院大学 経済学部 在学中合格
- * 受講コース 1.5年総合本科生 2019年11月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類 神奈川県
- 国家一般職（大卒） 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学のマーケティングの講義や接客のアルバイトをする中で、対価を支払った人だけでなく、多くの人に分け隔てなくサービスを提供できるような職業に就きたいと思うようになったことがきっかけです。また、公務員の仕事を調べるうちに部署移動が頻繁にあり様々な仕事が経験できることや、ライフワークバランスが整っていることに惹かれ、目指すことを決めました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

姉がTACを利用しており、すすめられたのがきっかけでした。また、圧倒的な実績があることや受講形式が豊富なこともTACを選ぶ決め手になりました。大学などが忙しくても合間の時間でWeb講義等を利用して少しずつ講義を受講できたり、職員の方が親切に対応してくださったのでTACを選んで本当に良かったと思っています。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校の一番のおすすめは、富田講師のサポートだと思っています。講義もホームルームも熱血で、何度も講師のお言葉に救われました。最初の方は一番後ろの席で居眠りして注意されていくらい呑気に受講していましたが、富田講師の熱いご指導のおかげで一番前に座って本気で学習と向き合えるようになりました。富田講師の講義は特に迫力があります。一番前に座るようになってからは講義を素早く理解できるようになり、復習も捗るようになったので、できれば前の方に座ることをおすすめします！また、ホームルームは横浜校独自で開催してくださるテーマが多いため、試験情報を得る場として活用するだけでなく、自分を見つめ直してモチベーションを高める良い機会になりました。

☞ 効率的学習方法

何事も自分に合った計画を立てて進めることが大切だと思います。ホームルームで教えて頂いたように学習計画用のノートにその日に取り組む科目と問題数を書き、終わったらチェックすることで着実に前に進んでいるという気持ちで学習することができました。年内は週1で予備日を設け、他の日にやるべき科目が終わってればその日は友人と遊ぶようにしていました。年明けからは1週間のうち半日だけ予備日を設け、それまでにやるべき科目が終わってれば、カフェへ行って志望先を調べるなど少しでも気分転換を図るようにしていました。

☞ 択一試験対策

講義を受けた日のうちに講義ノートやテキストを復習して、次の日にV問題集の1回目、次の講義前日にV問題集の2回目を解くようにしていました。そして、電車などのスキマ時間にはできるだけ講義の復習や時事、英単語の暗記を行うようにしていました。直前期からは、数的処理と経済は毎日午前中に取り組み、他の科目は3日で1回転できるように計画を立てて学習していき、長期間触れない科目が出ないようにしました。また、試験直前には短い時間で復習できるように苦手な分野だけを書き込んだノートを作り、試験当日の電車やお昼の時間に読むようにしていました。

☞ 面接試験対策

TACの模擬面接や面接復元シートを利用しました。模擬面接では、行ったことのない校舎も利用することで慣れていない環境や初めて会う人にも自分の考えを冷静に自然体で話せるよう練習しました。模擬面接も本番も回数を重ねるほどスムーズに言葉を紡げるようになっていったと思います。面接当日は難しいことを考えて焦るのを避けるため、とりあえず最初に「失礼します」を大きな声で言うことで良い第一印象を与えようと思って臨んでいました。

☞ これから受験する人へ

心が折れそうになることも何度もあると思いますが、成績が伸び悩んでも前向きに進むことが挽回の鍵になると思います。私は公開模試で連続してD判定を取ったことがありました。しかし、本番では受かるのは1人だけじゃないし、下剋上のチャンスだと思うことで緊張しすぎずに挑むことができ、模擬試験でD判定を取った受験先全てに合格することができました。また、指定校推薦で大学に入ったため、一般受験の人には勝てないなと思ってしまいましたが、1年半を通してやればやるだけ結果はついてくるのだと実感しました。所属学部や受験経験など自分は不利かなと思ってしまふ場面もあると思いますが、自分は今年の試験で絶対合格するという気持ちで継続すれば合格できると思います。時には弱気になってしまうこともありましたが、一緒に頑張る仲間や担任カウンセリングに救ってもらいました。そのため、悩んだ時は1人で抱え込まず、少しでも早く誰かに相談することをおすすめします。読んでくださった皆さんがあまり気負わず、最後までベストを尽くせるよう応援しています！



岸 樹実さん(21)

TACの講義がナンバー1

- * 出身校 明治大学 政治経済学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年2月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類
- 国家一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

私は、両親共々公務員の家庭に生まれました。特に「公務員になれ」と言われていたわけではありませんが、小さいころから自然と「将来は自分も公務員として生きていくのだろう」と考え、民間は微塵も視野に入っていませんでした。私と同じく、親や兄弟の影響で公務員を目指す人は少なくないと思います。しかし、いざ面接となると、正直に話せばもちろん自分の意志を主張できないので、公務員の魅力を自分なりに探しておく必要があります。私の場合は、幼いころ地元の自治体が主催するイベントに参加した記憶をひねり出し、そこから志望理由を深めていきました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

公務員を目指していた先輩がTACに通っており、話を聞いていたので、自分は最初からTAC一択でした。もちろん複数の予備校を比較して決める人もいるでしょうし、1年お世話になる所ですから慎重になるのも尤もです。しかし、どこであろうと結局は自分のやる気次第で決まりますし、結果TACに通い合格できたので、TACを選べば間違いないと私は思います。

TACは、どの講師も丁寧に教えてくださり、講義後は質問のために連なる行列にも一人ひとり対応してくださります。コロナの中で、Webで講義が受けられるというのも大きな利点だと思います。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

TACの中でも横浜校に通えたことが合格できた大きな要因だと思えるほど、担任講師のレベルが高いです。法律科目の講義、論文の添削、面接シートの添削、どれを欠いても内定を取ることはできなかつたと思います。TACには担任講師のカウンセリングを受けられる制度がありますが、ぜひ利用してみてください。短い時間での確かなアドバイスをしてくださいませ。多くの受講生を抱えている講師が、自分の名前まで覚えてくださり、本当に感謝してもしきれません。あとは、過労によって体調を崩されることのないよう願うばかりです。散々御世話になった身で言えませんが…（笑）

☞ 択一試験対策

まずは教養択一について、やはり一番の課題は数的処理です。問題数も多く、時間を大きく圧迫します。自分は、時間を測りながら解くことを繰り返し、問題集を何回も繰り返し解いて問題に慣れるようにしました。また試験種によって問題の癖があるので、それを把握するのも大事かと思います。

知識系に関しては、できる限り幅広く覚えました。年度によって難しい科目が違うので、全部カバーしとけば簡単な問題に目をつけて解けると考えたからです。

次に専門択一です。私は科目の性質によって学習の仕方を変えました。ミクロ・マクロ経済学のように計算が必要なものや、憲法のように出題のされ方が特徴的なものは問題集を回し続けました。逆に、政治学や行政学のように知識さえあれば解けるものは講義ノートを繰り返し音読しました。また、私は一日に何科目もやるのが苦手なので、2・3科目を数日かけて集中して一周していました。自分にあったやり方を見つけることが大切かと思います。

☞ 論文試験対策

私が公務員試験を受験するにあたって一番不安だったのが、論文試験です。もともと作文が得意な方ではなかったので、論文で足りがあるなどという情報を聞いた時には終わったなと思いました。自分でやるにしてもなかなか進まないで、ゼミに入りました。私の場合は周りのメンバーに恵まれ、とても有意義な話し合いをすることができました。ゼミを利用するか悩んでいる人は、ぜひ入ってみてください。論文は、自分の中で構成を決めておくことが大事かなと思います。あとは、どんなテーマがきても無難に答えられるように、満遍なく知識を入れておくといいでしょう。社会政策や時事など、論文以外の講義の知識も活用できます。

本試験で私がやってしまったことなのですが、問題文を焦って読むととても危険です。いろんなことが書かれていても、「結局何が問われているのか」を示す一文を見極めてください。講師にこのことを教わったときは、そんな初歩的なミスするわけ…（笑）と高をくくっていましたが、本試験の緊張感と思わぬハプニングを招くので注意してください。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は、なんといっても長期戦です。終わりが見えず、たるとってしまう時期もあるでしょう。受験シーズンになれば、周りの友人は就活を終え始め、焦りも増すことでしょう。しかし、頑張るしかありません。逆に考えれば、公務員試験は学習すればするほど有利になれる素晴らしいシステムです。自分の実力がはっきりわからない面接で勝負が決まる就活に比べ、非常にわかりやすく、すべきことが明らかで、結果が明確に出ます。私も折れそうになった時がありましたが、「あと少し頑張ってみよう」を繰り返しました。自分の将来のための学習だと思って、最後まで頑張ってください。たまには息抜きも忘れずに！



野田 明里さん(22)

TACを信じて自分のペースで

- * 出身校 明治学院大学 社会学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年3月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類 横浜市
国家一般職（大卒） 国税専門官
裁判所一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学受験の勉強で後悔が残り、公務員試験でリベンジをしたいと思ったのが正直なところでした。また、公務員の業務を調べていくうちに、大学で学んだ福祉の考え方が人々を支える業務に生かせようと思うようになり自分の性格にも合っていると感じ、公務員を志望しました。また、地方公務員は好きな街でずっと働き続けることができ、ライフプランが立てやすい面にも魅力を感じました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

大学の生協からお知らせが届き無料ガイダンスに参加した際に、担任講師の熱意のある説明や、受付の方の対応がよかったのでTACを選びました。また通いやすさやフォロー制度が充実している点、大手ならではの情報の多さを考え、合格に近づけるのではないかと思います。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

他の校舎に比べホームルームの数が多いことや、論文や面接対策でゼミを組めることです。担任の富田講師は、講義がとてもわかりやすいだけでなく、生徒の合格のために最善を尽くしてくださいます。公務員試験の道のりはとても長く、モチベーションの維持が大変ですが、ホームルームでの情報や担任カウンセリングを活用することで、安心して学習に集中できる環境ができていました。

☞ 択一試験対策

講義に集中し、講義後の帰り道には教材を読み込み、次の講義までに前回の範囲を完璧に理解するようにしました。科目数が多く、後回しにしていると追いつくのが大変になってしまうので、その日のうちになるべく多く理解しようと思いました。そのためには、きちんとスケジュール管理をして復習時間を確保し、各科目の演習を一つの目標にすると良いです。とはいえ、私は数的処理が苦手な他の科目と同じような勉強時間では全く解けるようにはならなかったため、V問題集を何度も繰り返しました。時間をかけても結果が出ず、焦る気持ちもありましたが、毎日向き合うことで徐々に成長がみられるのであきらめずに頑張りましょう。1日かけても解けなかった問題が直前期には5分で解けるようになり、成長を感じられるようになりました。

☞ 論文・専門記述試験対策

論文についてはグループ学習に参加しました。そうすることで、1週間に一度はテーマを決めて論文を書く時間を確保することができました。特に特別区は論文の比重が高く、これを対策することで他の試験種の論文の基礎にもなりますし、面接対策の一部にもなっていると感じました。また、ともに目標を持って学習する仲間ができるので、より頑張ろうという気持ちにさせられます。

専門記述の法律系に関しては、講義で配布される予想テーマの暗記に加え、講義ノートの重要判例を内容とともに結び付けて覚えておくのと良いと思います。憲法のより深い理解にもつながりました。

☞ 面接試験対策

グループ学習、模擬面接、面接カードの添削を活用しました。私は面接に苦手意識があり、択一試験の対策をしながらも不安でいっぱいでしたが、一次試験が終わってからの対策で十分間に合いました。面接は暗記したことを伝える場ではなく、面接官とのコミュニケーションの場であると思ってください。最初は緊張すると思いますが、回数を重ねれば確実に慣れると思います。志望動機の内容や自己分析などは大切ですが、それに加え表情や話し方や相槌など、いかに印象良く思ってもらえるかが大切です。ぜひ面接復元シートを活用して練習してみてください。

☞ これから受験する人へ

公務員試験を終えて思うことは、確実に合格に近づく裏技はないということです。学習法はTACの講師から言われたことを信頼して忠実にこなしました。基礎知識が全くない状態からのスタートでしたが、これですべて合格することができたので、不安から逃げなくなる気持ちを抑え、他の教材を考えることなどせず、毎日学習を続けるだけです。また、目標は高く持ちましょう。私は地方公務員しか考えておりませんでした。国家系の併願を考えることでより勉強に対するモチベーションが高まりました。また、試験日程の重複などのリスク回避や、結果が出てから業務を深く知り、志望先を考え直す方も多くいるので、なるべく多く併願することで人生の選択肢を広げることにもつながると思います。不安な気持ちはみなさん同じです。自分を信じて頑張ってください。



福岡 勇斗さん(21)

ハングリー精神でもぎ取った合格

- * 出身校 帝京大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年3月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
神奈川県
国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

高校生の頃から誰かの役に立ちたいという思いが強く、利益を上げ続ける民間企業よりも、人のことを考え続けることができる公務員に魅力を感じて目指しました。大学生になって、民間企業や公務員のインターンシップに参加しているうちに、やはり自分には公務員が合うと思い、TACで勉強を始め、公務員を目指すことにしました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

ネットでオススメの予備校に入っていたのでなんとなく通学を始めましたが、通ってみてわかりやすい講義と、分からないことがあっても気軽に質問できる雰囲気良かったです。さらに周りの受講生も本気で公務員を目指しているで、独特の空気感やライバル意識などもモチベーションになりました。講義が受けられない時もフォロー制度が充実していてとても助かりました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のオススメポイントは、レベルの高い受講生と講師陣にある気がします。個人的にTACで出会った友人に話を聞くと、とんでもなく頭の良い友人が多く、負けないように普段より学習のモチベーションが上がり、講師陣も本気で講義をするので、その熱が伝わりやる気につながりました。横浜駅からすぐに校舎に行けるのも通う上でオススメポイントです。

☞ 効率的学習方法

色々な学習法を試し、自分に合った学習方法を見つけることが大切だと思います。数的処理やミクロ経済などの計算科目は感覚を忘れないために毎日触れていました。暗記系科目は闇雲に問題を解くのではなく、1問1問なぜ間違っているのか、どこが間違っているのかを理解することが大切だと思います。

☞ 面接試験対策

学生時代に頑張ったことなどをしっかり作り、自分の言葉で話していくことが必要だと思いました。よく質問や答えを暗記して挑む人がいますが、答えによって意図してない質問が来ることも多く、この質問が来た時にこんな答えを返そうと、大体のテーマを決めて自分の言葉で話すことが重要ではないかと思います。またTACでは模擬面接のチームを作ることができるので参加するべきだと思います。同じ立場から弱点を洗い出し、普段気づかなかった良くない点に気づくことができます。特に面接が苦手だと感じる人は絶対に参加し、当日の雰囲気を感じながらコミュニケーションをとることが重要だと思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験の学習をしていくうちに、周りの友人は民間就職で内定を得ていたり、楽しく遊んでいる様子をSNSにアップしている写真を見て、不安になったり焦ったりすることがあると思います。しかし合格してしまえば絶対的な安定を手に入れることができるので、なぜ自分が公務員になりたいのかという軸をしっかりと持ってモチベーションにつなげることが大切だと思います。学習面では、公務員試験は長期戦なので、適度に休み、精神面・肉体面を定期的に回復させることが重要だと思いました。結果が出なくて焦ることもありますが、そんな時こそ何故結果が出ていないのかを見つめなおし、精神を回復させながら挑めば、点数が上がったり、理解度が上がったりすることがあります。自分を信じて目標がブレないように挑戦してください！



押田 智哉さん(21)

努力した分だけ報われる公務員試験

- * 出身校 明治大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年4月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 政治学

- * 最終合格試験種
国家一般職（大卒）
- 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学一年生の頃、議員インターンシップという国会議員や地方議員のもとで行うインターンシップに参加しました。そこで活動し、議員はもちろん公務員の方との交流を重ねていくうちに公務員になりたいと考えるようになりました。そして、大学3年生になり、就職活動を始めようと公務員について調べていくうちに、仕事内容や公務員の仕事の専門性の高さに魅力を感じ公務員を目指すことを決意しました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

TACを選んだきっかけは、自分が志望している受験先に合格した大学のゼミの先輩にすすめられたからです。実際に横浜校の無料体験講義に参加し、横浜校の担任講師の話聞くことで公務員を目指すにはどうすれば良いか具体的にイメージすることができたためTACを選びました。

良かったところは、TACは合格者数が多いままで公務員試験を経験した先輩方の話や面接復元シートを通し合格するためのノウハウを学ぶことができることです。特に面接対策では、先輩方の話を聞くことで志望動機ややりたい仕事を考えるときに参考になりました。また、TACではホームルームを定期的に開催しており、公務員試験の情報を得ながらモチベーションの維持にもつながりました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは、担任講師だと思います。他の校舎では実施していない独自のホームルームなども開催しており、情報がとても得やすかったです。また、横浜校では面接対策のグループ学習を行っており、より充実した面接対策を行うことができました。

☞ 択一試験対策

択一試験において最も大事なものは、苦手な科目を極力作らず満遍なく色々な科目を学習することだと思います。特に国家一般職や国税専門官、特別区を目指す場合には、当日問題をみでどの科目の問題を回答するか選ぶことができるので、できるだけ多くの科目を用意していくべきだと思います。ただ、学習してもなかなか伸びない科目もあると思います。そのため、自分の得意不得意や志望先での科目の重要度などを踏まえてメリハリをつけて学習することも大事だと思います。

☞ 面接試験対策

面接が苦手な人はとにかく場数を踏むことが大切だと思います。私は、面接が苦手な公務員試験と同時進行で取り組んでいた民間の就活ではなかなか結果を出すことができませんでした。そこで私は、大学の先輩や友人、TACでの模擬面接やグループ学習などを活用しとにかく場数を踏むということを意識して取り組みました。その結果、公務員でも民間でも最終的には内定をいただくことができました。択一試験とは違い面接はなかなか結果が出ず苦労することも多いと思います。しかし、公務員試験での面接は聞かれることも大体は決まっており、TACでは面接の復元シートなどもあります。そのため、対策をしていけば必ず結果を出すことはできると思います。

☞ 業務説明会の活用法

業務説明会は興味を持ったところは積極的に参加していくことをおすすめします。自分がしたい仕事は何なのかを考えるきっかけになり、志望動機を考える材料にもなります。また、質問をする時間があることも多いので、自分が聞きたいことをまとめて志望先に対する不安や心配事を払拭する機会にもなります。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は、努力した分だけ報われる試験だと思います。最初の頃は、学習する科目も多く、期間も長期にわたるためモチベーションを保てなくなることもあると思いますが、結果は必ずついてくるので自分を信じて最後まで頑張ってください。私も何度か公開模試や面接で結果が出ず諦めようと思ったことも何度かあります。しかし、今まで努力してきたことを無駄にしたくないと思い、自分を信じて努力をした結果合格することができました。TACでは担任講師やグループ学習などもあり周囲に相談しながら取り組むことができる環境でもあると思います。困ったときや不安を感じた時は周囲の助けも得ながら最後まで諦めず頑張ってください！



五十嵐 大起さん(22)

周囲を気にせず己と戦う

- * 出身校 明治学院大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年4月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
川崎市
国家一般職（大卒）
国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

まだ自分のやりたい仕事が決まっていなかったため、民間の就職も考えてはいました。ですが公務員は民間とは違い、公益の達成を一番の目的として働くことができるので、その点に魅力を感じて公務員を志望しました。またワークライフバランスが充実している点も志望した理由の一つです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

自宅から一番通いやすかったため TAC を選びました。また多くの合格者を輩出している実績があったり、自分にあった講座を選択することもできたため、TAC であれば、自分も合格を目指せると思い、TAC を選びました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

駅直結で駅近なのでとても通いやすいです。また多くの教室が自習室として解放されているため、自分が行きたい時に、行きたい教室に行くことができるので非常に便利です。

また横浜の TAC 生は大勢いるにも関わらず、横浜校の担当講師は一人一人に丁寧な対応をしてくれます。自分も担任カウンセリングを活用して、些細なことも相談して、不安を解消していました。

☞ 択一試験対策

ここでは直前期の学習方法について書きたいと思います。

教養科目では、数的処理の V 問題集を毎日、時間を計って解いていました。V 問題集の AA AB BA BB の問題を繰り返し解きました。また文章理解も、毎日現代文と英文を一問ずつ解いていました。私みたいに、数的処理が苦手な受験生は、文章理解で点数を稼ぐことが必要となるので、確実に点を取れるようにしておくことが大切だと思います。実際に本番の試験で、私は文章理解で点数を稼ぎました。

専門科目では、法律系の科目を得意科目にするため、法律系の科目に力を入れて学習しました。民法は毎日解き、憲法、行政法は 2・3 日に一回は必ず解いていました。そのおかげで、本番の試験では、高得点をとることができました。

経済系の科目は大の苦手だったので、V 問題集の AA AB BA の問題だけ解けるようにして、後の問題は捨てました。

政治系の科目は、国家志望の方はいずれ C ランクの問題も覚える必要があるため、A ランクの知識を確実に覚えたら、早めに少しずつ C ランクの知識を学習すると後々楽だと思います。

☞ 面接試験対策

面接はとにかく場数を踏むことが大切だと思います。練習を始めた当初は、受け答えがうまくできませんでしたが、数を重ねるごとに、緊張も解けていき、段々と自分が伝えたいことを言葉に表すことができるようになっていきました。なので、TAC の模擬面接やグループ学習を積極的に活用することをおすすめします。私は、計二十回ほど面接練習をしました。

また面接復元シートを読み、想定問答をしっかりと作成することもおすすめします。本番の面接では、想定問答通りの質問や、似たような質問が多くを占めるので、手を抜かずに準備することで、本番で自分の言いたいことが伝えられると思います。

☞ これから受験する人へ

周囲を気にしすぎることなく、自分が決めた目標に向かって頑張りたいです。どれほど周囲に優秀な人がいても、自分が本番で合格点をとることができれば問題ありません。なので周囲ではなく自分自身と戦って欲しいです。例えば、私は直前期は毎日 TAC に行って、12 時間学習することを自身の課題としていました。自習中寝ることも絶対にしないと決めて毎日通っていました。このような課題を自分に課すことで、達成したときに大きな自信を得ることができます。なので、周りを気にしすぎてしまう性格の方は、何か目標を自身に課して日々取り組んで欲しいです。

けれども、毎日学習してもガス欠してしまうと思うので、1・2 週間に 1 回は休養日にしてください。休養日まで頑張ろうという気持ちが芽生えて、メリハリもつくはずですよ。

公務員試験は長期戦になりますが、終わってみれば、あつという間だったなと感じますし、あのとき必死に頑張った良かったとも強く思います。皆様も全て終わったときに後悔のないように、必死に頑張ってください！！



佐伯 采香さん(22)

毎日の積み重ねが合格への近道

- * 出身校 明治大学 農学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年4月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 民法

- * 最終合格試験種
特別区I類
- 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

家族に公務員が多く、どのような仕事をしているかを聞いていたことから漠然と公務員になりたいと思っていましたが、大学3年生の夏に市役所のインターンに参加したことで公務員になりたいという気持ちが強くなりました。インターンでは市民の方と接する機会が多かったのですが、そのときの職員の方々の姿勢に感銘を受けたことで自分もそのような市民に寄り添う職員になりたいと思いました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

姉におすすめされたことがきっかけでした。無料体験講義を受け、講師への質問のしやすさなどがわかり、TACでなら安心して学習していけると思いTACを選びました。

実際にTACでの受講を始めてからは、自習室の使いやすさや担任への相談のしやすさ、論文添削の細かさを感じ、改めてTACを選んでよかったと思いました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは横浜駅から外に出ることなく校舎に行けることです。また、ほとんど毎日自習室として教室が開放されているため、講義前後に学習がしやすい環境にあります。

また、横浜校は担任講師が独自のホームルームやグループ学習を行っているため、より合格に近づけるのではないかと思います。担任講師にはどんなことでも気軽に相談ののってもらえることができ、とても気さくな方なので話しやすかったです。

☞ 択一試験対策

私は大学3年生の5月に入学しましたが、その頃はまだ民間就活もしていたため、本格的に取り組んだのは12月に入ってからです。民間就活と並行して学習をしていたときは、とにかく講師に言われたことだけはきちんとやるようにしていました。公務員一本に絞った受験前年12月からはV問題集の解き直しをしはじめました。

また演習については、演習がある日までにしっかりと準備し、演習で間違えたところを復習し直し、次に同じ問題がでたら間違えないようにすることがとても重要だと思います。

私は理系学部ということもあり、憲法や民法などの法律系科目に不安がありましたが、講師に次回までにやっておく講義ノートや問題集の範囲を細かく指示してもらえ、わからないところもすぐ質問に行くことができたため不安はなくなり、最終的には法律系科目が一番の得意科目になりました。

択一試験の直前は、とにかくV問題集のAA、AB、BAレベルの問題で、自分が2回以上間違えたところと演習で間違えたところをひたすら解きなおしました。インプット中心ではなくアウトプット中心に行くことで、本当に理解できているのかがわかるとともに問題が解けることが自分の自信につながるため試験本番も緊張せず解くことができます。

☞ 面接試験対策

面接試験は、どれだけ準備をしたかが合否に大きく関わってくると思います。エントリーシートを書く際には、きちんと自分で仕事内容やその市区町村の特徴などを調べる必要があります。また、その書いたエントリーシートを担任講師や友人など多くの人に添削してもらうことで、より良いエントリーシートができあがると思います。

模擬面接は、面接に慣れるまで行ったほうが良いと思います。面接本番は誰しも緊張してしまうものだと思うので、模擬面接で面接に慣れることは重要だと思います。また、面接中は自己アピールを積極的にしていくことに加え、一緒に働きたいと思ってもらえるような話し方や相槌をすることがとても重要だと思います。想定問答をしっかりと作って置くことは大前提として、アドリブでも答えられるようにしておく必要があります。その点でもやはり模擬面接を利用することはとても大事です。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は長期戦ではありますが、本番の試験や面接など、その時々集中力がとても必要になります。そのため、日頃からダラダラと学習するのではなく、短時間で集中して学習していくことで効率的な学習が可能になるとともにその集中力を本番でも発揮することができるようになります。

TACにはそのような学習の仕方ができる環境が整っています。モチベーションが保てなくなったり、漠然と不安を感じたりすることもあるかと思いますが、家族や受験仲間、担任講師に相談しながら、やるべきことを一つずつやっていけば最後には合格をつかみとることができます！あなたの合格を心から応援しています！



田中 弘樹さん(22)

一人で抱え込まないことの大切さ

- * 出身校 青山学院大学 経済学部 在学中合格
- * 受講コース 青学本科生 Plus 2020年5月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

私が公務員を目指したのは、税関職員の業務に憧れがあり、東京税関職員として成田空港、羽田空港で働きたいと思っていたからです。数年前に海外に修学旅行へ行った際、海外の税関職員の仕事に対する熱意、真剣さに心を打たれ、また旅客具検査などの税関の業務内容の興味深さにも惹かれたことで、いつか日本の税関職員として働いてみたいと思うようになりました。結果的に税関職員として働くことは叶いませんでしたが、この志望動機は公務員試験を乗り切る強いモチベーションにつながったため、何か明確な志望動機を見つけておくことを強くオススメいたします。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

私がTACを選んだのは、大卒公務員試験の合格率の高さが決め手となりました。実際にTACに入学してから気づいた良さとしては、専門的な科目であっても一から丁寧にわかりやすく説明していただける講師が多く、講師陣や教材のレベルの高さを実感しました。また試験対策として必要な箇所を強調して説明し、受講生の記憶に残りやすくなるよう多くのエピソードや説明を述べてくれることが多かったため、そういった気遣いが学習の力強い支えとなりました。受講生の質問への対応もとても丁寧でわかりやすいものだったので、TACの総合力の高さを感じました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校ではグループ学習が唯一実施されていることが最大のメリットだと思います。論文、面接対策のグループ学習を実施するにあたって様々なグループを受講生同士で作っていくことができますが、これらのグループに参加することで試験に関するいろいろな情報を交換できたり、学習の合間に雑談をしてストレスを解消することもできたりします。そのためグループ学習に参加することを強くオススメしますが、一人で頑張りたいという方のためにも担任講師と気軽に相談できる担任カウンセリングが用意されているので、受講生の不安や疑問を解消するための体制が十分整っている良質な校舎だったと感じています。

☞ 効率的学習方法

私は結果的に特別区I類でしか最終合格を勝ち取ることができませんでした。1次試験は裁判所一般職、特別区I類、国税専門官、神奈川県庁、国家一般職の全てで合格することができたので、1次試験に関しての学習法についてアドバイスをさせていただきます。筆記試験対策で大切なのは、基礎学力を定着させることだと思います。皆さんのうちの大半の方は講義を受けることで内容を理解することが可能だとは思いますが、公務員試験の学習内容は膨大なので、どのようにして学習した知識を忘れずに定着させるかが鍵となります。そのため、講義を受けたら講義ノートの内容を何度も繰り返して演習することをおすすめします。特に数的処理や経済学は講義ノートに解き方も含めて詳細な基礎情報が掲載されているので、それらを繰り返し反復練習していくことが効率的だと思います。（文章理解や民法はV問題集を繰り返し解く方が効率がいいと思うので、例外的にV問題集を中心的に進めていく科目を自分で科目決めておくのもいいと思います。）最後に、人によって学習方法に差はあるとは思いますが、意識しておくべきことは、難しい問題にばかり気をとられないことだと思います。受講生の多くが得点できる問題をより多く取るかどうかで筆記試験の合否は決まるので、何回やってもできない問題は、遠慮なく捨て問としてあきらめることも立派な戦略の一つです。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は筆記試験や個別面接、グループ討論などの様々な試験を順々に乗り切らなくてはならないとても大変な試験だったと感じています。これらの試験を乗り切るには学習を頑張ることはもちろん、いろいろな最新情報を入手することが不可欠になりますし、試験のストレスを適度に解消することも大切になってきます。これらのことを踏まえて、公務員試験の対策をしていくにあたって僕が大事だと感じたことは、一人で抱え込まないことです。私がTAC横浜校に入学した当初は予備校内に知り合いが一人もおらず、今自分のやっていることが適切なかどうか不安に感じていました。しかし、グループ学習のメンバーと知り合って話をしたり、講師の方に質問をしたりすることで、自分の不安が少しずつ解消され、明るい気持ちで公務員試験対策に臨むことができるようになりました。対策に多くの時間が必要な公務員試験を一発で乗り切るためにも、余計なストレスを抱え込まずにベストな精神状態で試験に臨むことが今後の合否に大きく影響することだと感じているので、他の受講生や講師、友人や家族との時間も作ることもぜひ大切にしてください。



若林 春菜さん(22)

最後まで諦めない

- * 出身校 横浜国立大学 経済学部 在学中合格
- * 受講コース 横国本科生 2020年5月入学
通学
- * 最も力を入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種 東京都I類B 国家一般職（大卒）
国税専門官 裁判所一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学のゼミナールを通して、民間企業だけでは参入することが難しい分野があると認識するようになったことがきっかけです。そのような分野で、民間企業が参入しやすくなる環境づくりや支援等を通じて、よりよい社会の実現に携わることができるという点に魅力を感じて、公務員を目指すようになりました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

公務員試験を受験していた大学の先輩からTACをおすすめされたことがきっかけです。また、無料ガイダンスでの内容がわかりやすかったことも大きな理由です。

よかったところは、講義や教材が充実しているところだと思います。TACの教材だけを繰り返し解くことでほとんどの試験種に対応できるのではないかと感じます。また、面接復元シート等のデータが豊富で、面接対策が充実していたこともよかったところの一つです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校は駅から直結しているため通いやすかったです。大学へ向かう途中など、用事のついでによく利用していました。

担任講師が、数多くのホームルームで情報を提供してくださったおかげで、公務員試験についての知識がほとんどなかった私でも安心して学習スケジュールを立てることができました。また、担任カウンセリングでは疑問点をわかりやすく教えていただいたり、併願についてのアドバイスをいただいたりと様々な不安を解消していただきました。論文や面接カードの添削についても迅速かつ丁寧に行っていただき、大変お世話になりました。

☞ 択一試験対策

教養試験では、数的処理の対策が重要だと思います。私は、まずV問題集を何度も繰り返し解き、解法を理解するように心掛けていました。試験本番が近づいてからは、V問題集を解く際に時間を計り、正確に解答できるか試すようにしていました。

社会科学・人文科学・自然科学についての学習時間を十分に確保することは難しいかもしれませんが、これまでに学習したことのある科目や親しみのある科目などは内容を理解しやすいと思うので、初めから手を付けないと決めてしまうのもったいないように感じます。数的処理で失敗してしまっても、これらの科目でカバーできることもあるので、息抜き程度でも学習するといいいのではないかと思います。

専門試験対策では、民法の学習に力を入れました。まずは講義を集中して受講し、その日のうちに該当する単元のV問題集を一度解くようにしていました。その後は知識を定着させるため、基本演習を目標にV問題集の中でも間違えた問題や解答に迷った問題を中心に繰り返し復習をしていました。

☞ 公開模試の活用法

公開模試を受験する際には、本番で時間内に解き終わるため、どのように時間を配分するかを意識していました。模試受験後は、間違えた箇所をテキストで復習して知識の定着を図りました。公開模試は全部で5回あり、中には受験予定のない試験種もあるかもしれませんが、初見の問題に触れることができる貴重な機会だと考えて、全て受けてみるといいと思います。

☞ 面接試験対策

面接試験の対策は、一次試験の終了後から始めました。主に自主ゼミと模擬面接を活用していましたが、自主ゼミで面接官の視点を経験できたことはとても良い機会でした。表情や説明の仕方など、他の受講生を客観的に観察することで、面接官へどのようにアピールするべきなのかを次第に理解できるようになったと感じます。自己分析は、面接試験対策をする中でも行っていましたが、時間がかかるので一次試験学習の合間などに少しずつ行っていくといいと思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は学習内容が多く、民間企業と比べると内定が出るのが遅いため、不安になることも多いと思います。そのような際には、講師に相談して悩みを解消しながら、努力を続けることが大切だと思います。つらいと感じる瞬間もあると思いますが、適度に息抜きをしつつもメリハリをつけて取り組み続けることが重要です。最後まで諦めずに頑張ってください！応援しています！



田高 希さん(22)

TACなら大丈夫！！

- * 出身校 青山学院大学 経営学部 在学中合格
- * 受講コース 青学本科生 Plus 2020年5月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 法律系科目

- * 最終合格試験種
特別区I類 横浜市
国家一般職（大卒） 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

公務員の仕事に興味を持つようになったのは、大学1年次の授業の課題で、地方公務員として働く父に仕事に関するインタビューを行ったことがきっかけです。そのインタビューを通し、幅広い方々に、幅広い行政サービスを提供することができる公務員は、とてもやりがいのある仕事だと感じました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

どの予備校に通おうか悩んでいるときに、大学の先輩がTACに通っていることを知り、話を聞いたところ、講師の方々の講義の分かりやすさや、合格実績の高さ、面接対策など様々な良い点を教えてくれたので、TACに決めました。実際入ってみて、講義内容はもちろん、担任講師によるホームルームや種類豊富な面接復元シート、グループ学習などサポートがとても手厚く、TACにしてよかったと改めて思いました。また、教材も、TACの講義ノートとV問題集があればあとは何もいらないので、教材の使いやすさと豊富さも魅力だと思います。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは、駅直結で通いやすく、ビルの上層階にあるので落ち着いた雰囲気の中で集中して学習に励むことができますところだと思います。担任である富田講師が毎月行って下さるホームルームは、各試験種についての細かい説明や、面接対策、官庁訪問についてなど、今知りたい情報が盛りだくさんで、モチベーションアップにつながりました。面接シートの添削も丁寧にして下さり、納得のいく形で面接に臨むことができました。富田講師は、優しくもあり厳しくもある、受講生のやる気を最大限に引き出して最終合格に導いてくださる講師です。何度も気持ちが折れそうになりましたが、そのたび富田講師の言葉に救われました。

☞ 効率的学習方法

まずは、自分の受験先の試験科目をしっかりと確認し、やるべき科目とやらなくても良い科目を確認することです。私の場合、併願先では生物や地学、物理なども必要でしたが、第一志望ではそれらの科目の出題がなかったので、とりあえずはやらないことに決め、数的処理や法律系科目に時間を使いました。その後、生物などは公開模試で出題された箇所やなんとなく面白そうだなと思った箇所だけ試験の直前に確認する程度にしました。

また、法律系科目の富田講師が、同じ問題が3回連続解けるようになったら当分はやらなくても大丈夫と仰っていたので、3回連続で解けた問題は、2、3か月は解きませんでしたが、それでも忘れることはなかったのので、解ける問題は何度もやらず、苦手な問題に時間を使った方が良いです。ですが、数的処理など、何回やっても解けない問題は、思い切って一旦後回しにするなど、取捨選択も必要です。私は、「その日の学習計画」、「その日何の科目をどのくらいやったのか」、「その日の合計学習時間」、「その日の感想」を毎日専用のノートに書いていました。やったことが目に見えるので達成感につながると共に、モチベーションアップにもつながりました。

☞ 面接試験対策

対策は、各1次試験の合格直後から始めました。面接カードを担当講師に何度も添削してもらいました。自分自身で完璧だと思っても、面接官が理解できなかったら意味がないので、絶対誰かに添削してもらった方が良いと思います。面接復元シートを参考にし、想定問答をWordで打ち、質問に対する答えを用意しました。答えを完璧に文で覚えてしまうと、自然な感じが無くなってしまいますので、なんて答えるのかを短い文や単語で覚えていました。私は、グループ学習に参加していたので、そこで面接練習を行いました。グループ学習は、評価者、面接官、面接者の全てを経験することができるので、面接官だったらどんなところをつっこみたくなるのか面接官をしていくうちに分かるようになりました。私はTACの模擬面接を1回も利用せず、全てグループ学習の面接練習で乗り切ることができたので、迷っていたらぜひ参加してみてください。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は、やらなければいけないことがたくさんあり、長丁場なのでモチベーションの維持が大変です。特に、民間組がだんだんと内定をもらう大学4年生の4~8月頃はまさに試験の真っ最中で、精神的にきついこともあると思います。私も実際、直前期に全くやる気が起きず、ただ椅子に座っているだけの日もありました。なんでやる気が起きないのかもわからず、悔しくて涙がでました。どうせ何もやらないのだったら、外に遊びに行ったり、美味しいものを食べたり、気分を変えることも必要です。次の日にはきっとまたやる気が戻ってくるはずですよ。公開模試でなかなか点数が伸びなかったり、論文を書くのが面倒くさくなってしまったり、不安や悩みはたくさんあると思います。ですが、諦めずに頑張れば、最後は良い結果が待っていると思います。あの時もっと勉強してればよかった、、、という後悔が無いよう、最後の最後まで粘って、自分を信じて頑張ってください。応援しています！



石井 菜々実さん(21)

合格は自分で掴み取りに行く

- * 出身校 法政大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース トリプル本科生 2020年5月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類 横浜市
国家一般職（大卒） 国税専門官
裁判所一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学での就活セミナーをきっかけに市民や国民の支えとなる公務員を目指そうと思いました。高校や大学の友人が民間企業志望ばかりで併願するか悩みましたが、特にここにいきいたいといった業界・会社はなかったため公務員一本で行きました。また、大学で学んだ知識や大学時代のカフェでのアルバイトで得た接客技術を直接活かそうと思ったからです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

予備校を調べる中で、TACの合格実績が高かったからです。そのため、膨大な受験者データをもとに公務員試験対策ができると思ったからです。また、Web講義や担任講師カウンセリング、毎月のホームルーム、自主ゼミを活用した面接対策など充実した制度が整っているところがよかったです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは、集中して試験対策をできる環境があるところです。朝9:00から夜20:00（コロナ禍のため）自習室が設けられ、周りの方も学習している姿を見ると負けられない！という気持ちになり、頑張ることができます。また、横浜駅から地下街を通っていけるため雨に濡れず、高層ビル内にあるため、眺めのいい景色を堪能できます。さらに、周辺に飲食店がたくさんあるため、気分転換しやすいと思います。

担任の富田講師は、どんな時もとにかく手厚く熱心に面倒を見てくれます。担任カウンセリングでは丁寧な面接カード添削や進路・学習方法の相談、論文対策としては富田講師独自に添削をしていただけました。さらに、毎月富田講師による独自のホームルームでは試験種ごとに面接対策や試験対策についての情報を発信して頂き、情弱の私はとても救われました。富田講師は時に厳しく時に励まし、受験生の試験のモチベーションを保ってくれる大きな存在です。

☞ 択一試験対策

とにかくV問題集を解きまくることで。演習前までには3回終わらせることと、わからない時はその講義後に講師に聞いて納得して帰ることを徹底しました。数的処理の数的推理が特に苦手だったので、繰り返し解くことで解法は暗記しました。

受験前年11月からは1日4科目くらい、受験年2、3月からは7、8科目を繰り返し解きました。基礎が本番でも応用が効くと感じたので、AAは必須でAB、BA、BB、BC、CC(得意科目のみ)の優先順位で取り組みました。CCが解けると自信になりますが、本番では解く時間がかざられているので科目の担当講師や担任講師と相談しながら自分の戦略を組み立てると良いかもしれません。もし、苦手科目があるならば、まずは講義ノートを完璧にしてみてください。また、本番で難しい択一（専門）が出てくることがあるので保険のため、余裕がある人は選択科目をこの時期に講義を消化しておくことで安心です（行政学など）。

☞ 面接試験対策

面接は、受けてみて結構比重が大きいと感じました。国家一般は筆記重視と言われていますが、官庁訪問において内々定を勝ち取るためには大切です。私はある程度の基本的な自己分析を年末に終わらせ、筆記が終わってから本格的に対策を始めました。面接対策として、パンフレットを読み、各省庁の公式YouTubeを見て業務内容をインプットしました。そして、面接対策のゼミやTACの模擬面接で合わせて4回（1つの試験種ごと）ほどは練習しました。また、コロナで難しいかもしれませんが、説明会は面接カードや面接で参加の有無が聞かれることがあるので熱心さをアピールするために参加した方が良いです。実際の本番ではあなたの人生や経験を深掘りして聞いてきます。そこから、対応能力やコミュニケーション能力を見てくるので、質問に対しての答えをしっかりと筋の通るように返答することを心がけてください。特にかっこいい返答は求めていないので、聞かれたことを答える意識！

☞ これから受験する人へ

公務員試験は試験科目が多く、対策期間が長いとても大変で「合格できないかもしれない、浪人するかも」といった思考に一度はなると思います。しかし、コツコツと自分を信じて「とれる」問題を確実に丁寧に学習することで、合格への一歩が踏み出せると思います。私は今まで受験というものを経験したことがなく、周りが頭よく見えて自信がなくなったことがあります。しかし、担任講師や科目担当講師にどしどし相談や質問することで、自分にあった学習法が見つかり、できなかった問題ができるようになると自信につながりました。その自信が本番では精神安定剤になって集中して自分の実力が出せるでしょう。まだまだ時間はあります。諦めず、最後まで全力で！



小倉 沙紀さん(21)

やるべきことをやる

- * 出身校 早稲田大学 文学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年6月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 民法

- * 最終合格試験種
横浜市 国家一般職（大卒）
財務専門官 裁判所一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

民間以上に色々な人と関わることができると思ったからです。高齢者、若者、富裕層、貧困層など様々な立場の人と接することで自分の視野が広がると思い、公務員を目指しました。

また営業のノルマなど、利益追求から生じる良心の呵責が少ないことも理由の一つです。もちろん公務員であっても辛い場面には多々遭遇すると思いますが、行政機関が追求する中立性・公平性に賛同でき、自分の価値観とマッチしていると感じ、志望しました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

大手であったことと、以前兄が通っていたことからTACを選びました。入学前には無料体験講義や無料ガイダンスに参加し、イメージを掴むことができました。TACは教室の講義が充実していることが魅力であると思います。私は土日コースでしたが、数的処理・経済系の科目は平日に振り替えており、自分に合った講師を見つけることができました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

担任講師には、論文や面接カードの添削では何回もお世話になりました。論文や面接カードに正解はないため、自分の書いた文章を他の人に見てもらうことはとても大切だと思います。直接教室に行けないときは、i-supportを利用し、メールでの回答をいただきました。添削以外の雑談でも、「最近はどう？」と気にかけていただき、親身に相談にのっていただきました。

☞ 択一試験対策

法律系科目（憲法・民法・行政法・刑法）は問題集を繰り返し解いていました。法律特有の言い回しに慣れるために、実際に問題を解くことが重要だと思います。私は特に民法に力を入れていました。民法は他の法律科目と比べて複雑で分かりづらいので、自分で図を書いて整理してみると理解しやすくなると思います。

経済系科目（ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学）は講義ノートの問題を繰り返し解いていました。問題集は2回転しかできませんでしたが、講義ノートで基本の型や定義をしっかりとマスターしたことで、十分戦えるレベルになったと思います。

政治系科目（政治学・行政学・社会学）は講義ノートを何回も読み、インプットを中心に学習していました。大学へ向かう電車の中では講義ノートを読むと決め、隙間時間を活用するよう意識していました。

☞ 面接試験対策

グループ学習に参加することをおすすめします。筆記試験までは個人戦でしたが、面接試験は団体戦です。グループ学習に参加する利点は2点あります。1点目に面接官役を体験できることです。面接官の立場に立ってみることで、受験生のどういうところを見ていいのか、面接シートのどこを深堀したくなるかが分かるようになっていきます。2点目はグループのメンバーと情報を共有できることです。公務員試験では、例えば官庁訪問など「情報戦」と言える場面があると思います。もちろん担任講師に話を聞くこともできますが、今年の面接の実際の雰囲気やどんなことが聞かれたのか、といった最新の情報をグループ内で共有して試験に臨むことができました。

☞ これから受験する人へ

他の人と比較すると辛くなるので、自分のやるべきことをやるに尽きると思います。民間志望の友人が内定を決めていく中、就活を続けなければならない辛さや焦りを感じるとありますが、そういうものだと思って割り切りましょう。年明けからSNSは一旦ログアウトして見えないようにしていました。息抜きで遊んだりダラダラ過ごしたりすることもありましたが、結局学習しているときが一番安心するということが分かりました。

振り返ってみると、全力で学習に集中できる環境があったことはとても贅沢なことだと感じました。法律や政治、経済など今まで知らなかった社会の仕組みについて僅かながらも学ぶことができ、本当に良かったと思います。受験勉強は大変ではありますが、ぜひ楽しみながら、そして応援してくれる周りの方への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください！！



町頭 拓馬さん(21)

一步一步を大切に

- * 出身校 学習院大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 学習院本科生 Plus 2020年6月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 マクロ経済学

- * 最終合格試験種
特別区I類 神奈川県
国家一般職（大卒） 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

公務員といえば安定という印象と、幅広い人の役に立ちたいという思いから公務員を目指しました。しかし、視野を狭めないために民間企業の長期（3か月）・短期インターンに参加しました。そして、民間インターンや公務員の説明会参加を通じ、公務員でなければできない仕事や様々な分野で活躍のフィールドがあることに魅力を感じ、本格的に公務員だけを目指すようになりました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

圧倒的な合格実績と充実したフォロー制度が決め手です。多くの合格者を輩出しているTACは情報量が多いため、択一・面接対策ともに他の受験生より優位に立てると思います。また、私がTACに入学した当時、大学はオンライン講義を継続するのか、対面に切り替えるのか検討している最中でした。そのため、クラス振替出席フォローやWeb講義を利用できる環境は非常に助かりました。

そして何よりも、富田講師のオリエンテーション（無料体験講義）を受けた際に、富田講師に担任をやってほしいと感じたことがTACを選んだ最大の決め手です。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

担任の富田講師の存在です。講義中は厳しい時もありますが、集中できる環境を作ってくれます。担任カウンセリングでは、真摯に相談に乗ってくれ、励ましの言葉で背中を押してくれます。このようにメリハリがきちんとしており、すごく頼りになる講師です。今、この合格体験記を書いているのは富田講師のおかげです。他にもこのように感じている受講生はたくさんいると思います！

また、横浜校では、講義前後に時期に合わせた内容のホームルームを多数やってくれます。そこでの熱い言葉は本当にモチベーションが上がります。富田講師のホームルームを受けるために、他校舎から来たと言っていた受講生もいるほどです。さらに横浜校は、受講生同士でグループを組んで、面接対策や論文対策を行うグループ学習もあります。合格という同じ目標を持った心強い仲間と励まし合いながら頑張れるのでおすすめです。

☞ 択一試験対策

講義を受けてすぐ復習、復習では講義ノートを見るだけでなくV問題集を解く。これに尽きると思います。私は年内、復習の際に問題演習を疎かにすることがよくあり、不十分な復習となっていました。そのため、科目によっては直前期に何度も初歩的なことを確認してしまい、時間を無駄にしました。やはり、地道なことの積み重ねが一番の近道だと強く感じました！

また、私は数的処理と文章理解が苦手だったので、毎日問題に触れるようにしました。特に、数的処理については、担当講師と相談し、年内はひたすら講義ノートの問題だけを解いて基礎を固めることに専念しました。年明けからV問題集を解いたものの、受験年4月まで全く伸びず不安になりました。しかし、本番では高得点を取ることができ、自分でも驚きました。基本を大切に、粘り強く取り組むことが大切です。

☞ 面接試験対策

個人的には、自己分析が何よりも大切だと感じます。私は想定問答集を作らずに、自己分析をしっかりして、質問に合わせて柔軟に対応していくことを意識しました。そして、柔軟に対応できているか客観的に知るために、実践的な対策ができるグループ学習に参加しました。その結果、自分の考えや思いを自然体で伝えることができるようになりました。ただ、想定問答集を作った方が上手くいくという人もたくさんいるので、面接対策は人それぞれだと思います。また、面接では真剣な顔と笑顔を上手く使い分けることをおすすめします。私の場合は、笑顔が多過ぎてヘラヘラしてるように見えると模擬面接で指摘されたことがありました。本番では、表情を上手く使い分けたことで、好印象を与えられたと思います。

☞ これから受験する人へ

最後まで自分を信じる。そして、家族や友人、TACに頼ることが大切です。公務員試験は本当に長い戦いです。頑張れば頑張るほど不安になるかもしれません。ですが、公務員になりたいという気持ちを忘れずに、努力を続ければ必ず結果はついてきます。本当にしんどい時が踏ん張りどころです！そこを耐えれば合格にグッと近づくと感じます。悩みは一人で抱え込まず、周りに相談すべきです。学習のことであれば、講師陣がいくらでも相談に乗ってくれます。疲れたなと感じた時には、家族や友人とリフレッシュしましょう。気が楽になって頑張れます。

また、民間志望の友人が内定を取り始めると、焦りだす人が多いと耳にしたことがあります。しかし、皆さんの周りの人達は公務員試験を応援してくれるはず。ただ内定の時期が違うだけです。なので、友人の内定と一緒に喜びつつ努力を続けましょう。

公務員試験を終えた時には今まで味わったことが無いような達成感を感じることが出来ます。辛いこともたくさんあると思いますが、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています！



齋藤 知果さん(21)

TAC 生でよかった！

- * 出身校 早稲田大学 文学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年7月入学
通学
- * 最も力を入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種 特別区I類 横浜市
- 国家一般職（大卒） 国税専門官
- 裁判所一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

両親が公務員だったこともあり、幼いころから公務員を身近に感じていました。大学3年の7月ごろに、公務員に就職された大学の先輩から、やりがいや就職活動などについてお話を伺う機会があり、「当たり前前の生活」を土台から支えている仕事に魅力を感じたため、就職先として本格的に目指し始めました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

公務員に就職された大学の先輩から、すすめられたことがきっかけです。特に論文と面接に不安を感じていたので、豊富な面接復元シートや、回数無制限で何度でも論文の添削や模擬面接を受けられるという点に魅力を感じて、TACを選びました。初めて触れた科目ばかりでしたが、講義・教材共にわかりやすく、その点も含めて良い選択だったと感じています。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

担任の富田講師には、担任カウンセリングやホームルームなど沢山、支えていただきました。毎月のホームルームでは学習方法や面接試験に向けた自己分析の仕方など、その時々に応じた情報が得られるので、何をやればいいのか明確にしながら対策を進めることができました。論文や面接カードも、丁寧に添削していただいたおかげで本番では自信をもって臨むことができました。また横浜校は、土日の昼中心クラスがあることや、校舎の立地の良さ、面接や論文のグループ学習で、同じ志望先の人と高いモチベーションを持って切磋琢磨できるのも魅力だと思います。

☞ 択一試験対策

択一試験対策で最も効率的なのはV問題集を繰り返し解くことだと思います。通常期はTACの講義を受け終わったら、できるだけその日のうちに講義ノートの復習とV問題集を解いて、次の講義を受ける前にV問題集をもう1回解くというのをルーティーンにしていました。もともとは担任講師から教わった方法ですが、知識が定着するのが実感できるので、この方法はどの科目にもおすすめです。苦手意識のあった数的処理に関しては、V問題集を毎日少しずつ解くことを続けたことで、最終的には安定して得点源とすることができました。どの科目にも言えるかもしれませんが、成果を実感できるまでにタイムラグがあっても焦らず、V問題集を諦めずに続けることが重要だと思います。

☞ 論文・専門記述対策

論文対策は、論文を書いて慣れることが大切だと思います。志望先ごとに自主グループを作り、皆で志望先にあった形でテーマ別の予想問題を作り、添削し合ったり、TAC講師や担任講師に何度も添削をしていただいたりすることで、対策していました。自治体研究や政策研究にもなるので、論文対策をそのまま面接に活かすことができます。また専門記述は、直前期にTACの専用のテキストなどの解答からポイントを抜き出して、ポイントだけノートにまとめ覚えることで対策していました。

☞ 面接試験対策

面接に苦手意識や不安があったので、秋ごろの自己分析のホームルームをきっかけに少しずつ自己分析を始め、1次試験後に本格的に面接を意識して、TACの模擬面接と自主ゼミ、それぞれ15回ほど活用して対策していました。模擬面接では、毎回改善点や良い点など指摘していただけるので、その改善点を意識して次に臨み、それを繰り返すことで段々、面接への不安が減りました。また自主グループで、同じ志望先の方々と一緒に練習することを通して、他の方の面接や面接カードも見て面接官の視点を学べたことで、自分を客観視できたので、とても力がついたと思います。本番で会話を意識し表情を柔らかくできたのも、模擬面接と自主ゼミで練習した成果だと思うので、面接が苦手な人でも乗り越えられる環境があると強く思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は民間と比べても期間も長く、不安も大きいと思います。でも、TACの講義やフォロー制度を活用しながら、最後までコツコツ努力を積み重ねていけば、筆記も面接も自然と結果はついてくると思います。時々息抜きをしながら、自分が今までやってきたことを信じて頑張ってください！陰ながら応援しています！



新堀 樹さん(22)

自分に合った努力を！

- * 出身校 明治学院大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年8月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 社会学、政治学、経営学

- * 最終合格試験種
特別区I類
- 神奈川県
- 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

高卒で神奈川県警に就職した地元の友人の話聞いたことがきっかけです。そこで実際に公務員として働くことのやりがいを知り、魅力を感じました。そこから公務員について調べると、行政サービスを通じて様々な形で国や地域に貢献できるということを知りました。そのなかで公務員を目指そうと決意した最大の理由は、専門性が高い仕事が多く、使命感や誇りをもって働ける職場であるという点にあります。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

私がTACを選んだ理由は、TACに通われている先輩が多かったという点と、学校と自宅の途中にあり定期券内に校舎があったという理由からです。良かったところの1つ目は、これまでTACが蓄積した情報を基に講義のカリキュラムが組まれているということです。自分自身で学習計画を立てる手間が省け、実績のある講師陣のおかげでスムーズに学習することができました。2つ目は担任講師制度があることです。小さい心配事から相談できる環境が整っている事は心の支えになりました。また、ホームルームがあることで受験に対する意識を常に高い状態に保つことができました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

私は横浜校に所属していました。横浜校のおすすめポイントは、駅から近いという点です。校舎まで駅直結であるため雨でも濡れることなく通うことができます。また、ビルの上層階にあるため教室からの見晴らしがとてもよく落ち着いて学習することができます。受講生も意識が高い方が多いので良い刺激をもらえます。担任の富田講師は、受講生ファーストで動いてくれる頼りがいのある方です。独自のホームルームを開催してくれたおかげで、どの科目をどの時期にどの程度学習すべきなのかを明確にすることができました。またグループ学習のおかげで意欲的な受講生と交流を図ることができ、お互いに支え合える環境が自然とできあがっていました。担任の富田講師は、時には厳しい言葉で気持ちを引き締めてくれます(笑)。他にも面接対策や論文についても手がけてくれるので、横浜校に通ってよかったなと思います。

☞ 択一試験対策

私の勉強方法は講義ノートの読み込み(復習)とV問題集の反復がメインでした。民法や行政法などは単語を覚えるより内容理解が必要なので、復習に2時間以上かかる時もありました。決して効率的な学習方法ではないですが、読み込むという作業は無駄にはならないと思います。また苦手科目を克服するより他の科目で補う方が試験で点数をとれる可能性が高いと思っていたため、苦手だった数的処理より人文科学や自然科学の学習に注力しました。

☞ 面接試験対策

私が試験を通じて最も大切だと感じたのが、面接対策です。公務員試験の面接対策はそこまで重要視していない受験生が多いと思います。しかしながら実際は、ガクチカや志望動機などについてかなり深掘りされた印象です。なので、自分自身で面接復元シートなどを基に想定質問を考えて回答を用意することは、時間が許す限り入念にやるべきだと思います。また、グループ学習のロールプレイング型の面接対策に参加し他の受験生の面接を見ることや、面接官の立場に立つことで、どういう言い回しの方が面接のウケがいいのかなどを学ぶことができます。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は本当に長い戦いです。実際に受験して、身に沁みて感じています。早い段階から頑張りすぎてしまうと、途中で集中力が保てなくなります。なので、しっかりと続けることができるペースでメリハリをつけて頑張ってください。また、苦手な科目があったとしても、他の科目で補うことができるのが公務員試験です。なので、他の受験生が捨て科目として勉強をしないような科目でしっかりと点数を積み重ね、自分自身に合った戦略を考えて受験することが大切です。合格に向けて良いイメージをもって、コツコツ頑張ってください！応援しています！



新井 友哉さん(21)

TACと富田講師を信じて合格！

- * 出身校 法政大学 経済学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年8月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 民法

- * 最終合格試験種
特別区I類
国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

就職先を決める際に考えていたことは、幅広い仕事に挑戦でき、さらに人々の生活に直接関わることができる仕事がしたいということでした。それが実現できるのが公務員ではないかと思い公務員を視野にいれました。そして、TACの無料ガイダンスに行った際に、行政の業務内容に魅力を感じて本格的に目指しました。また、私自身が大使館の方にお世話になったということも理由の一つです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

最大の理由は、ほかの予備校と比べて多くの合格者を毎年輩出していることです。そのため、TACには筆記試験や面接復元シートのデータが数多く存在しているため、TACに決めました。また、講義の制度が充実しているところも選んだ理由の一つです。通学与Webを併用することができるため、苦手な分野があればそこを何度も学習できる所もメリットです。通学で欠席してしまってもWebのおかげで安心感がありました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

所属校舎の横浜校は立地が良いと思います。雨天の日でも横浜駅から雨に濡れることなく校舎にたどりつくことができ、さらに25階にTACがあるため見晴らしがよく、休憩する際は横浜の景色を眺めながらリラックスができました。また、横浜校には経験豊富で親身になって相談に乗ってくださる担任の富田講師がいることもおすすめです。私自身も何度も担任カウンセリングを受けさせていただきました。その際、自分が落ち込んでいるときに励ましの言葉をいただくことができたため、担任講師として心強かったです。

☞ 択一試験対策

択一試験の学習をした際、TACで与えられた教材以外何も使っていません。TACには過去の問題のデータが集積されていてそれに基づいてテキストが作られているため、講義ノートとV問題集を完璧にすれば十分合格ができます。実際に私が本試験を受けた際にも、V問題集でみたことのある問題が数多くありました。私は民法が特に苦手であったため、V問題集を何周もして知識を定着していきました。苦手な科目はV問題集を繰り返し解くことをお勧めします。

☞ 論文・専門記述試験対策

私は論文の対策をする際、2つのことを実践しました。1つ目は、新聞を毎日読むことです。論文試験に限らず、時事問題は教養試験でも面接でも問われます。そのため、今振り返ると、新聞を読むことはすべての試験対策になっていました。2つ目は、志望先のHPや広報を見ることです。HPや広報を見て実際に行われている取組を自治体ごとに調べました。

専門記述対策では、専門記述を課してくる志望先が少なかったため、憲法に絞って学習しました。その際、担任の富田講師のレジュメを使ってひたすらキーワードを覚えました。

☞ 面接試験対策

面接試験はまず自己分析をしました。自分の体験談を踏まえて話す必要があるため、アルバイトやサークルの経験を書き出しました。また、面接復元シートにも何度も目を通しました。自治体により面接形態や質問内容が異なるため、その自治体に合わせた対策を練る必要があると思います。

また、模擬面接を何度も活用しました。大人との模擬面接で面接の経験を積み、模擬面接後はフィードバックをいただけるため、そこで少しずつ面接力を上げていきました。

☞ これから受験する人へ

公務員試験の最初の目標は、筆記試験に受かることです。当然ですが、筆記試験が突破できないと面接には進めません。ただし、筆記試験は満点を取る必要がなく、さらに全てまんべんなく学習することは不可能に近いので、メリハリをつけて学習をする必要があると思います。そこでTACのカリキュラムに沿って毎日コツコツ学習をすすめ、直前期に追い込むことで、合格を勝ち取ることができると思います。公務員試験の合格までの道のりは本当に長いですが、担任のカウンセリングや横浜校限定の毎月のホームルームなどを活用すれば、モチベーションを維持することができます。途中で諦めてしまえば絶対に合格はできないので、最後まであきらめずに頑張ってください！応援しています。



萩原 円香さん(22)

人事を尽くして天命を待つ

- * 出身校 中央大学 商学部 在学中合格
- * 受講コース 中大本科生 Plus 2020年8月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 ミクロ経済学

- * 最終合格試験種
特別区I類 鎌倉市
国家一般職（大卒） 国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

旅行が好きのため観光業に興味を持っていましたが、新型コロナウイルスの影響で民間企業は採用中止が相次ぎ悩んでいたころ、興味本位でTACの公務員ガイダンスに参加したことがきっかけでした。調べてみると公務員として観光に携わる職種もあり、自身コツコツ努力するタイプなため学習を始めました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

友人のすすめでTACを知り、大学近くにも校舎があることから通いやすいと思い選びました。TACを選んでよかったことはホームルームや担任講師・合格者カウンセリング、面接復元シート等のサポートが充実しているところです。特にホームルームとカウンセリングはモチベーションを保つことや不安や悩みを解消する場としてとても重宝させて頂きました。公務員試験は正しい情報を知ることがとても大切だと思うので、講師陣やTACの先輩が残してくれた情報を駆使してほしいです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは担任講師だと思います。担任の富田講師はとても熱心な講師です。講義(憲法・民法・行政法)やホームルームでは先輩のお話や励ましの言葉だけでなく、時には喝を入れてくれるのでモチベーションを保つことができました。また、富田講師オリジナルの時事クローズアップは時事問題の原因から既に行われている施策等が分かりやすくまとめられていて、定期的に行政の様々な問題に対して自分自身の意見を考えることができました。時事の教材に自身のアイデアや意見をまとめておいて、すきま時間に読めるのでおすすめです。また、本試験の論文前に読み返すこともできるので、ノートなどにまとめておくのと良いと思います。

☞ 択一試験対策

私は数的処理が苦手だったため、直前期は専門試験対策を重点的に行いました。専門試験は教養試験に比べて点を取りやすい上に、覚えたもの勝ちなので必死に覚えました。対策方法としては、V問題集をできるだけ多くこなすことが大切だと思います。私は、できるだけ良質で多くの問題をこなすためにV問題集の間違った問題をすべてスマートフォンで撮影をし、すきま時間や就寝前に解きなおしをして、1日に2回その問題に触れるようにしていました。間違った問題をピンポイントで復習できるので、スマートフォンが自分の苦手問題集となり試験直前まで復習していました。

また、科目によって他の科目とリンクするものも多いので、最初は幅広く学習することをおすすめしたいです。いつ何時もいっぱいいっぱいだと思いますが、本番に近づくほどさらに焦るので、早いうちから諦めず多くの科目に挑戦することがいいと思います。

☞ 公開模試の活用法

私は公開模試の時点ですべての講義が受け終わっていなかったのですが、私と同じような方でも公開模試を受験することをおすすめします。受けている当時はわからない問題が多く、結果も散々でしたが、改めて学習法を見直すことや自分のレベルを知ることができ、悔しさをバネに頑張ることができました。活用法としては、本試験の1週間前に時間を測って解き直しをし、公開模試で出た単元には教材・V問題集に付箋を貼って取り組みました。公開模試は本試験の予想問題なので、TACを信じて最後まであきらめずに取り組んでほしいです。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は長期戦になるので、不安に押しつぶされそうになることがあると思います。私も同じような経験を何度かしました。しかし、諦めず自分のできること精一杯をやり尽くせば、きっと結果はついてくるのだと思います。

私からのアドバイスは3点あります。1点目は、復習を丁寧に行うことです。受講しなければならぬ科目が多くなり復習がおろそかになると、後から必ずツケが回ってきます。そうならないための一番手取り早い方法はV問題集を繰り返し解くことだと思うので、上記の私の方法でもいいと思いますし、自分に合った方法で丁寧に復習をしてみてください。2点目は、面接は印象勝負ということです。話す内容もちろん大切ですが、「笑顔でハキハキと大きな声で元気よく」ができていれば十分といっても過言ではないと思います。簡単なように見えて、志望度が高ければ高いほど緊張や不安でできなくなるものです。グループ学習や模擬面接を活用して、練習を重ねてください。3点目は、自分なりの学習方法を見つけることです。友人、先輩、講師方、ネット等多くの情報が飛び交っていると思いますが、自分を信じて自なりの学習方法を続けてみてください。万が一その方法が間違っている場合でも公開模試の結果で気づけますし、そこからいくらでも修正できます。一生懸命頑張っても、息抜きを大切に頑張ってください。皆さんの合格を心より応援しています。



星野 日菜子さん(21)

基礎が大事！

- * 出身校 大妻女子大学 文学部 在学中合格
- * 受講コース 主要科目本科生 2020年9月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類
国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

私は身近に子育てをする人が多く、その様子を見て、将来は子育て支援に携わることができる仕事をしたいと考えたことがきっかけです。それに加え、女性が長く勤められる環境で仕事をしたいという思いがあったので、公務員を志望しました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

初めてTACで無料ガイダンスに参加した際、情報の豊富さに魅力を感じました。公務員試験についてインターネットで調べても不確かな情報であったり、間違った情報も多いと思います。TACにある合格者の方の情報はとても参考になりました。また、初めは独学で挑もうと考えていたのですが、面接対策に不安を感じていたため、面接対策も充実している点も決め手になりました。よかったところは、不安や相談したいことがあればすぐに講師陣に相談することができたところです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校は横浜駅から歩いてすぐです。雨の日でも全く濡れることなく教室にたどり着きます。担任の富田講師は、いつでも話を聞いてくださる講師です。学習に詰まったときや志望先が中々決まらないとき、的確なアドバイスをくださいました。また講義はわかりやすく面白いので、法律科目が得意になりました。

☞ 効率的学習方法

私は数的処理がとても苦手でした。講義内で講師に今解いてと言われた問題で解けたことがないくらいです。そこで、まずは基礎を固めるために講義ノートで同じ問題を三日連続で解くようにしていました。一日目は問題を見て、当然解けません。そこで解説を理解できなくても読み、嫌になる前に次の問題に行きます。次の日解説を見ながら解いてみます。そして三日目になると意外とすんなり解けることが多いです。それを繰り返し、年末までに6回転しました。本番では難易度の高い問題と易しい問題をしっかり区別して解くことができたので、数的処理で7割取れたと思います！

☞ 択一試験対策

私にとって一番大変だった科目は、マクロ経済です。数的処理はなんとか苦手を克服できたのですが、マクロ経済は最後までよくわからないまま試験を迎えました。私はマクロ経済の講義を聞いても全く理解できなかったため、解き方を全て暗記しました。時間がかかるのであまりおすすめできませんが、私のように本当に何もわからない人はAA問題レベルだけでも暗記して解けるようになるべきだと思います！法律科目について、公務員試験対策学習をしているとよく「V問題集を10回解きました！」という話を聞かれますが、私は全ての問題を10回解くのではなく、解けた問題と解けない問題を見極めるようにしていました。できない問題は10回以上解いたものもあると思いますが、3回連続で解けたら終わりという見切りを自分の中で決めていました。時間は限られているので、V問題集の日付欄を活用し、効率の良い学習をおすすめします。

☞ TAC教材の活用法

私は数的処理が本当に苦手だったので、易しい問題をずっと解いていました。講義ノートは10回転したのですが、V問題集は私にとって難しかったので、多くても3回くらいで解いていない問題もありました。その代わりに、受験年2月頃にある特別区数的処理特別講座を受講し、正答率を見ながら解くべき問題を必ず解けるようにする練習をしました。この講座で使用した過去問題集を繰り返し解いたことが、数的処理の苦手克服に繋がったと思います。

☞ 面接試験対策

面接練習はTACの模擬面接と、グループワークを利用しました。私にとって効果的だったのはグループワークです。筆記試験合格者同士でグループを組み、面接官と受験者を交代で行います。面接官をすることで、質問しやすい面接カードの作り方を学ぶことができました。また他の受験者の志望動機や学チカを聞いて、参考にさせてもらうこともよくありました。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は科目も本当に多く、大変だと思います。私は自分の専攻と科目が異なっていることや、学歴にとても不安を感じていたのですが、富田講師に「そんなの関係ないよ。君は真面目に講義を受けているから絶対に受かるよ！」と何度も言って頂きました。言われたときは信じていなかったのですが、今ではあの時の言葉が本当に支えになったと思います。不安要素はたくさんあると思いますが、講師や自分の力を信じて頑張ってください！



木下 優利さん(21)

無理なくコツコツとやり抜く

- * 出身校 中央大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 中大本科生 Plus 2020年9月入学
通学
- * 最も力を入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種 特別区I類
国家一般職（大卒）
国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学の先輩方が公務員として活躍されている話を日頃から伺っていたことで、公務員の仕事に興味を持ちました。実際に大学3年に進級し就職活動について本格的に考え始めた時期に、人の暮らしに多くの側面から携わることができる公務員の仕事をやってみたくと改めて考え、公務員試験に挑戦することを決心しました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

大学や自宅から通いやすかったこと、公務員試験に合格された先輩方がTACを利用されていたことが大きな決め手です。各科目の講義がWebで視聴でき、択一・論文試験から面接試験まで網羅して対策をすることができる講座の内容にも惹かれ、TACで公務員試験の学習を始めようと考えました。校舎に行けない時もWebで受講でき、自分のペースで学習を進めることができた点が良かったと思います。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめのポイントは、担当講師が非常に熱心に受講生に指導をされている点だと思います。担任である富田講師が独自で開催しているホームルームや担任カウンセリングでは、各試験種の科目の学習方法や論文・面接カードの添削等、どんなに些細な内容でも講師がお忙しい時でも講師が親身になって対応して下さいました。独自に実施しているグループ学習各種に参加したことで、論文や面接に向けた対策を参加しているメンバーと切磋琢磨し合いながら効率的に行うことができました。数的処理担当の伊藤講師には質問コーナーや講義前後の時間に教材の使い方や出題傾向、問題演習の優先順位など、講義の内容以上の情報を教えて頂き、直前期の学習や試験本番で役立てることができました。講師の方々のお陰で、この1年を有意義な時間にすることができました。ありがとうございました。

☞ 効率的学習方法

得意科目・不得意科目は人によりけりだと思いますが、通常期・直前期共に優先順位をつけてメリハリよく学習を続けることが大切だと思います。まず継続できる自分なりのノルマを設けることが大切です。私は通常期にWebで2週間で1科目の受講を終わらせること、直前期に毎日午前中に数的処理10問解くなど本番の時間帯に合わせて科目を学習することを目標にそれぞれ学習を進めました。ノルマを達成することで、私は学習を進める上で悩まされる不安を自信に変えることができました。次に逐一担任講師や各科目の担当講師に相談をすることです。

私も実際に講師に相談した結果、数的処理の演習量を減らすことで、他の科目への学習時間を捻出することができ、得点源を増やすことができました。公務員試験の学習を始めた時期が遅い、学習方法をどうしたらいいのか不安と感じている方は、臆することなく講師に相談して学習を進めるべきだと思います。

☞ 面接試験対策

面接試験対策で大切なことは、多くの人と練習をすること、自己分析をすること、業務説明会に参加することの3点だと思います。私は受験の年の6月中旬から本格的に対策を始めたため、グループ学習に参加することで場数を踏みました。グループ学習では受験者だけではなく面接官としての視点を持つことができるため、面接官がどこを深堀してくるか知ることができます。また過年度の面接復元シートを見ることで実際の面接の様子をグループ学習に活かせるので、一通り確認するべきだと思います。面接対策を本格的に始める前に、少しずつ自己分析をすることと業務説明会に参加するべきだと思います。私は筆記試験が終わるまでこの2点を疎かにしていたため、参加したい業務説明会の申込に間に合わないといったことがありました。面接対策も筆記試験対策とともに、ある程度早めに始めることをおすすめします。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は筆記試験までの道のりが長い、筆記試験が終わるとせわしなく面接試験の準備をしなければならない、最終的な結果が出るのが民間企業の就職活動よりも遅いなど、不安に駆られたり辛い気持ちになることが続くと思います。そんな時は息抜きをして、試験の学習から離れる時間を作ることが大切だと思います。スポーツに打ち込む、テレビや動画配信サイトを観る、アルバイトをするなど、自分自身で気分転換できることを見つけることで、学習に対するモチベーションを保つことができます。それでもどうしても辛い時は周りの家族や友人だけでなく、富田講師に相談をしに行ってください。講師に相談することで、今自分が何をすべきなのか見つめ直すことができると思います。一喜一憂せず辛いことを乗り越えて自分を信じて努力を続ければ、きっと良い結果に繋がると思います。これから受験される方々のご健闘をお祈りいたします。



松村 彩音さん(22)

TACのおかげで勉強を頑張り続けられました！

- * 出身校 東京女子大学 現代教養学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年9月入学
通学
- * 最も力を入れた科目 民法

- * 最終合格試験種
横浜市
国税専門官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

私が就職について本格的に考え始めた大学3年生の年はコロナ禍の影響で就職が困難な年でした。そんな中「将来は子育てをしながら働き続けられる安定した職につきたい」と考え、公務員という職に興味を持つようになりました。それから公務員についてより詳しく知るために実際に職員の方とお話ししてみたところ、とても真面目で誠実な方だったので、私もこのような方々と一緒にお仕事がしたいと思い、公務員を目指して本格的に学習を始めました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

予備校をどこにしようか迷っていた当時、TACだけでなく様々な予備校の説明会やカウンセリングを受けに行きましたが、その中でも「TACではそれぞれの科目のプロの講師が教えてくれる」「講義や面接のフォローが充実している」という点で魅力的に感じ、TACを選びました。他にも、TACは校舎がさまざまなところに点在しているため、自分の都合に合わせて校舎を活用することができることや、面接復元シートの種類や数が豊富なため面接の準備がしやすかった点も魅力の一つです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは、試験に向けて学習を頑張り続けられる環境が整っていることです。横浜校は駅から近いため、本試験前は毎日のように朝から夜まで自習室に通い続けることができましたし、またその自習室では試験に向けて学習している仲間が他にもたくさんいるため、だらけることなく学習に集中し続けることができます。また同じ目標を持った仲間とゼミを作ることができるため、情報収集はもちろん、他にも不安や悩みを共有することができ、その点ではメンタル面でも仲間に支えられてもらうことができました。このように、仲間と切磋琢磨して学習に励めることが横浜校ではできますが、担任講師が私たち受講生に寄り添ったアドバイスをしてくれる点も魅力の一つです。地方上級の中でも横浜市は人気の受験先ですが、横浜校の担当講師はより詳しい情報を持っているので面接対策をしっかりとすることができました。受験生にとってそれぞれの受験先の情報というのはとても有益なものですが、横浜校はこの面でも充実していたと思います。

☞ 択一試験対策

私は理系の学科に所属しており、数的処理や理系の科目は得意でした。公務員試験を受験する人たちはほとんどが文系で、数的処理や理系の科目を苦手とする人が多いです。なので、理系の学生は理系の科目を得点源にできるように早い段階から完成させておくと、他の受験生と差をつけることができ良いと思います。しかし、私は暗記系の科目が苦手だったので、その点ではとても苦労しました。暗記科目の学習法としては、①まずは講義を受ける ②講義の復習をし、その範囲の過去問を何度も解く ③どうしても覚えられなかった箇所には付箋をつける ④隙間時間(通学中の電車の中など)に付箋の箇所だけ何度も読む という学習法を取っていました。最初は教材のほとんどのページに付箋がついていたのですが、この学習法を繰り返していくうちに知らないことを暗記する事に慣れていき、苦手だった民法だけでなく他の法律科目も得意科目にすることができました。

☞ 面接試験対策

私は最初、面接がとても苦手でした。話せる題材は多くあったのですが、それをしっかりと整理して相手にわかりやすく伝えることが全くできなかったからです。初めて模擬面接をした際、私のポロポロな面接を見た面接官役の講師が親身になってアドバイスをしてくれました。自分がかこれからどうすれば良いのかしっかりと道筋を立てることができました。面接が苦手な方に私が言いたいこととしては、想定問題を自分で作り、文字起こしをして自分の言葉で綺麗な回答を作る作業をたくさんする、あとは模擬面接をたくさん利用して面接に慣れる、というこの二点を徹底すると面接が得意になってくると思います。実際に、私は志望度が高い受験先では一万字ほど想定問題を作成したり、何度も模擬面接を利用したりした結果、模擬面接では最終的に一番良い評価をもらうことができました。

☞ これから受験する人へ

私は学習がとても苦手だったし、暗記系の試験科目は多いし、周りの受講生の大学のレベルも高いし…と、とにかく不安になる要素がとても多かったのですが、「自分を信じてがむしゃらに学習するしか受かる方法がない」と割り切ったからは、段々と合格への道が見えてくるようになり、学習が楽しくなってきました。学習が苦手な方でも公務員に絶対になるという強い信念を持って学習を続ければ、必ず道は開けてくると思います。TACにはこのような志を持って学習をしている仲間がたくさんいるし、そんな受講生をしっかりと支えてくれる講師の方々もいます。最後まで諦めず、自分のやってきたことを信じて頑張ってください！



蟹江 康生さん(22)

最後まであきらめないで

- * 出身校 早稲田大学 政治経済学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 2020年9月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類
- 国家一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

就職活動の1年目は民間に絞って就職活動をしていたのですが、自分の中で結果に納得がいかず、友人や家族にアドバイスを貰って、考えなおして公務員を目指すことにしました。正直コロナ禍での就職活動のやり直しということもあり、不安はとても大きかったです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

選んだ理由は自宅から通いやすいところにあり、公務員に受かった友人にTACに通った人が多く、信頼ができたからです。良かったところとしてはWeb講義が非常に充実していることがあります。コロナで教室に通うことが難しかったので、Web講義にはとても助けられました。Web講義を使えば自宅にいる時だけでなく、通学時間や授業の休み時間にも講義を受けることができますので是非おすすめしたいです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは、やはりグループ学習だと思えます。論文や面接などは1人でやっていくのは難しいと思いますが、このグループ学習に参加することで、他人の視点を取り入れることができ、非常に役に立つと思います。グループ学習では自分が採点する側にもなることができ、非常に自分の力になると思います。切磋琢磨できる仲間にも出会えるので、ぜひグループ学習に参加することをお勧めします。担任の富田講師も生徒と真剣に向き合ってくれる熱い講師です！

☞ 効率的学習方法

自分が、どの科目が得意でどの科目が苦手なのかを把握することで、効率的に学習することができます。私の場合は、数学系の科目が苦手で暗記系の科目が得意だったので、経済科目はミクロ経済と財政学を学習してマクロ経済はほとんど学習しませんでした。一方で政治学や行政学などの政治系の科目に力を入れました。数的処理もあまり得意ではなかったので、社会科学や人文科学もしっかり学習しました。自分は何が得意で何が苦手かを知るためには、自分の過去の学習経験を振り返ってみたり、まず講義の1回目を受けてみるのが効果的です。また高校や大学で公務員試験に出てくる科目を事前に学習していたら、講義を受けずにすぐに問題演習に取り組むことも可能です（難易度にもよりますが）。とにかく科目数が多いので効率的な学習を心がけてください。

☞ TAC教材の活用方法

教材はTACのもので十分で、他のものを追加で買う必要はないと思います。講義ノートは非常に優秀なテキストだと思うので、講義を受けて気になったところはメモをすることとして、時間のある時に何度も見て覚えていくのが大事です。講義ノートの中にも一問一答や簡単な例題が入っているので、移動時間や講義のスキマ時間を利用して解くのをおすすめします。V問題集に関しては講義を受けただけでは簡単な問題をひと通り解くのがいいです。その科目の講義をすべて受け終わったら難しい問題にチャレンジし、以後は何回も繰り返し解くことをおすすめします。V問題集は様々な難易度の問題が入っていますが、受ける職種や自治体によってどれを解けばよいのかは変わります。自分はどれくらいの問題が解ければよいのかを考えて取り組んでください。

☞ 公開模試の活用法

結果に一喜一憂せずに、振り返りをしっかりしてその後につなげていくことが大事です。自分が具体的にどこができなかったかを把握したら、すぐにV問題集に取り組んで苦手分野をつぶすことをおすすめします。点数が取れていても、勘で選んだ選択肢がたまたま正解したり、たまたま得意分野ばかりが出たという場合もあります。きちんと理解して正解を導き出せたのかどうかを確認してください。公開模試の結果は本当に気にしないでください。私も公開模試の点数は平均点以下だったのに、本番では筆記を突破できたところもあります。受験本番に合格点が取れればいいので、最後まであきらめないでください。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は科目数が多く、民間に比べて長丁場になるので、自分が続けられるように工夫をするのが大事だと思います。毎日学習する科目を変えてみたり、時々気分転換をすることでメリハリがついて飽きずに学習を続けられると思います。おそらく皆さんは多くの職種や自治体を併願することになると思いますが、それぞれ試験に出る科目や難易度も違うので、ゴールから逆算して計画を立てていくことが大事です。TACなら切磋琢磨できる仲間もいて、充実したサポートもあります。辛くなったり悩みがあったら担任講師にも相談して、合格をもぎ取ってください！



土田 紫央さん(22)

一喜一憂せず、自分を信じて

- * 出身校 日本大学 法学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 Lite 2020年 11月入学
通学
- * 最も力を入れた科目 民法

- * 最終合格試験種
特別区I類

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

保育園でのボランティアをきっかけに、都心に住む子どもたちが自然に囲まれてのびのびと育つことができる環境を作りたいと考えました。また高校生の時から公務員という仕事に憧れており、大学では公務員として働く人たちの話を聞く機会が多数あり、本格的に公務員を目指したいと考えるようになりました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

当初、大学内のTAC公務員講座を受講していました。しかし新型コロナウイルスが蔓延し講義はWebのみとなってしまったため、思うように勉強がはかどりませんでした。TACに通学すれば、学内の講座には無いホームルームや、グループ学習を利用して他の受講生たちと面接練習や論文練習ができ、何よりも緊張感をもって取り組むことができると感じ、TACの校舎で学ぶことを決めました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校には午前中から自習室を利用して学習する人たちがたくさんいたため、とても刺激を受けました。公務員試験は合格までの道のりが長く、時に心が折れそうになることもありましたが、志望先は違えど同じ公務員を目指す受講生が周りにいることで自分も頑張ろうと思えました。

横浜校には担任である富田講師の存在も魅力の一つです。富田講師が行うホームルームは毎回内容も濃く、身が引き締まって学習を捗らせてくれましたし、「絶対合格しよう！」と何度も思いました。また学習を進めていくうちに不安なことも多々ありましたが、そのたびに真摯に相談にのってもらい、檄を飛ばしてくださったので最後まで頑張ることができました。

☞ 効率的学習方法

とにかく毎日V問題集を解くことだと思います。私は受験前年11月入学だったため、ほぼ毎日夕方から講義があるので午前中のうちに講義の復習やV問題集をひたすら解いていました。毎日家で学習するとだらけることもあるので、週に何回かは自習室を利用して緊張感をもって取り組みました。

また、メリハリをつけた学習が重要だと感じています。私は、集中できないと思った時は思い切って遊びにいったり、リフレッシュできることをしたりしていました。あくまで個人的な意見ですが、一日中学習していると夕方の講義が眠くなってしまい集中できなかったことがあったので、30分でもいいので仮眠をとっておくことで頭がすっきりして知識を入れやすかったと感じています。

☞ TAC教材の活用方法

TACの教材は内容も充実してわかりやすいですし、V問題集も問題豊富なので配布された教材を利用すれば合格できると思います。やはり試験が近くなるにつれ不安も大きくなり、他の教材に手を出しがちですが、TACの問題集を何度も繰り返し解くだけで十分だと感じています。V問題集を解き終わってしまったら、演習や公開模試などでも異なる問題を解けますので、そちらを復習にあてて、また解き方を忘れた頃に問題集に戻る…という風に進めると幅広い問題に対応しやすくなると思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は終わってみても本当に長い戦いで、モチベーションを保つのも大変でした。私は本格的に学習し始めたのが周りよりも遅かったので、本当に合格できるのか不安な日々でした。公開模試ではボロボロで涙が出る日もありましたが、自分を信じてコツコツ努力し続け、本試験の1か月前ごろにようやく結果が出せるようになりました。重要なのは、たとえ結果が出せるようになっても驕らず、悪くても足りない部分を見直して地道に頑張ることだと思っています。公務員試験は早ければ早いほど余裕をもって勉強できますが、遅くからはじめても自分の努力次第で合格に持っていかれると思っています。

目の前の結果に一喜一憂せず、TACの講師やご家族・友人、公務員を目指した自分を信じて、最後まであきらめずに頑張ってください！



佐々木 佳那子さん(22)

自分を信じて突き進んでください！

- * 出身校 明治大学 文学部 在学中合格
- * 受講コース 総合本科生 Lite 2020年9月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 ミクロ経済学

- * 最終合格試験種
特別区I類
- 国家一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

母が町内会で環境委員を務めていた時期があり、ゴミ出しのルールを取り決めることで、住民の生活の質が改善されていったという出来事を目の当たりにしたことがきっかけです。こういった生活の基本を見直していくことで、より多くの方が気持ちよく生活できるようになるということを知り、公務員という立場で幅広く人々の生活を根本から支えていきたいと思うようになり、公務員を志望するようになりました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

知り合いがTACに通っていたことと、合格実績の多さを知ったことが一番の理由です。また、講義や教材はもちろん、論文やホームルーム、担任カウンセリング等、充実したフォローをしていただけたことがとても良かったです。質問メールでは、すぐにわかりやすい返答が貰えたことで疑問がどんどん解消されていき、学習の効率アップに繋がったと感じています。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校は、駅直結なのでどんな天気の日でも気にせず通うことができる点が特におすすめです。また、ビルの高いところに教室があるため、学習に疲れてふと外を見た時に、横浜の綺麗な景色を見ることで、リフレッシュすることができました。

担任の富田講師のホームルームはいつもわかりやすく、そして気合いを入れ直してくれる、欠かせないものでした。熱く厳しい講師の言葉に鼓舞され、毎回気を引き締めることができました。

☞ 択一試験対策

重い（量が多く点を取るのが難しい）と言われる科目から片付けていくことを心がけていました。例えば憲法、民法、ミクロ経済学、マクロ経済学などです。これらの科目は、どうしてそうなるのかという意味がしっかりあり、それを理解すると正答率がぐんと上がると思います。

また、全ての科目に共通して私がやっていたのは、間違えた問題に関連する講義ノートのページに絵付きの書き込みをすることです。この方法は、自分が間違えやすいポイントが後から見返した時にわかりやすくなるとともに、印象に残りやすくなるのでおすすめです。

☞ 論文試験対策

私は当初、論文に苦手意識がありました。実際に添削していただいた論文も、評価は目も当てられないほどでした。しかし、的確なアドバイスをもらえたことで、次の論文はこう書いてみたらうまく自分の考えが伝わるのではないかと工夫することができるようになりました。そのうちに、だんだんと良い評価で添削が返ってくるようになり、自信を持つことができました。TACでは何度でも自分の書いた論文を添削していただけるので、ぜひ活用してほしいです。

☞ 面接試験対策

横浜校では、志望先ごとにグループを作り、協力して面接対策ができます。これは自分も面接官の役をしながら練習ができるので、自分をより客観的に評価することができました。メンバーの方の良いところを見つけながら、自分の面接をどんどんブラッシュアップしていくことができたと思います。予約を取って、様々な校舎の講師にも面接対策をしていただき、たくさんのアドバイスをいただきました。本番の面接で緊張することはありませんでした。

面接の内容は、自分らしさを出すことができれば何の問題もないと思います。そのためには、自己分析がかなり重要です。自分の行動や選択の理由を一つ一つ書き出し、自分とはどういう人間かを理解した上で、面接官にプレゼンテーションする気持ちで挑むといいと思います。自分をよく知る人に聞いてみて、自分が思っている「自分」と比べてみると、より納得した分析ができると思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験はとても長く先の見えないものです。私は大学3年生の9月から入ったため、科目をやり切れるか不安になった時期がありました。また、直前期の公開模試でもCかD判定しか取れず、自信を喪失していた中、担任講師に「絶対に大丈夫」と言っていただいたことで、安心して学習に取り組むことができました。それからは、とにかく目の前の課題をこなすことに専念しました。民間組の多くは公務員志望者よりも先に就職を決めるので、焦りや不安を感じることもあると思います。でも、あなたがTACでやってきたことを思い出してください。受験会場に行くのは自分自身です。どんな時も自分を信じ、受験が終わった後に自分を褒めてあげられるよう、最後まで諦めずに頑張ってください。



田村 青里さん(22)

諦めずにやり抜き合格！

- * 出身校 早稲田大学 文化構想学部 在学中合格
- * 受講コース 速修本科生 2021年2月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
横浜市
国立大学法人等

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学3年の夏頃、就活をどうしようか悩んでいた時に横浜市役所を訪れたのがきっかけです。2020年に桜木町に移転し、すごく綺麗な庁舎だったので、直感で「ここで働きたい」と感じました。また、私は仕事を選ぶうえで、転勤が少ないこと、収入が安定していること、定時で帰れることを軸にしていたので、公務員として働くことが合っていると思いました。生まれてから住んでいる横浜の発展に貢献できるという点も魅力に感じたので、横浜市の職員を志望しました。なので、私は「公務員になりたい」というよりも「横浜市の職員になりたい」という思いがとても大きかったです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

大学3年生の10月ごろから独学で学習を始めました。ですが、受験年1月末ごろ専門科目の学習を始めるにあたり、教材選びや併願先についての悩みが出てきたので、予備校を探し始めました。3つの予備校に相談に行きましたが、2つは入学時期が遅かったこともあり、門前払いを受けたような感じでした。最後にTACに相談しに行ったところ、とても親身になって話を聞いてくださり、「ここでなら合格まで辿り着けそう」と思ったのでその日に入学を決めました。TACは入学時期に関係なく手厚いサポートを受けることができたので、私のように年明けからの入学者にも安心できる制度が整っていました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

私は入学時期が遅かったこともあり、校舎に行く回数は少なかったのですが、担任の富田講師のカウンセリングは毎回親身になって話を聞いてくださったので、安心して学習を進めることができました。実は私は横浜市の一次試験（筆記試験）にあまり手応えがなく自信がなかったので、合格発表まで面接対策を一切していませんでした。一次試験（筆記試験）の合格発表後、慌てて面接対策を聞きに行ったときは、面接に向けてすべきことを簡潔にまとめて教えてくださいました。横浜市は面接の比重が高いので、半ば諦めモードでしたが、富田講師とお話しして最後までやりきろうと気持ちを切り替えることができました。

☞ 択一試験対策

私が受験した横浜市は数的処理の出題率が高いのでかなり時間を割いて学習していました。取り組み方は講義で講師が教えてくださいました方法でやりました（テキストにも載っていると思います）。数的処理で大切なことは、答えを覚えることではなく、解き方を覚えることでした。

何を求めたいのか、どの解き方がどういう問題の時に使えるのか、自分で理解できているか確認するようにしました。

☞ TAC教材の活用法

どの講師も仰っていますが、ひたすらTACの教材を繰り返し使うようにしました。書店に行くと色々な参考書があるので手を出したくなりますが、絶対に必要ありません。TACの問題を繰り返したほうが、効率よく知識を定着させることができるからです。特にV問題集は難易度や出題頻度も書いてあり、選んで解くことができたので使い易かったです。私は間違えた問題をチェックし、理解できるまで繰り返し解くようにしました。

☞ 効率的学習法

生活リズムを整えることが大切だと感じました。公務員試験は科目数が多いのでバランスよく取り組む必要があります。私は1日のスケジュールを決めて毎日同じ時間に同じ科目の学習をするようにしました。また、限られた時間で知識を増やしていくために、暗記事項は付箋に書いて机に貼っていました。1日に何度も目にするので、1週間もすれば覚えられていました。特に専門科目や社会科学では有効な方法でした。

☞ 面接試験対策

自己分析と受験先の研究を徹底的にするようにしました。私は一冊ノートを用意して、よくある質問や面接復元シートにある質問への回答をまとめました。自己分析については、「公務員としてどう活かせるか」「どう成長したのか」などの視点を持つことが大切です。受験先の研究については、ホームページを熟読しました。国立大学法人等を受験する方は、大学の方針や力を入れていることがわかるので、学長のコメントに目を通しておくことをおすすめします。また、どの面接でも暗記したことを言うのではなく、面接官に伝えようとする気持ちを大切にするように心がけました。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は他の就活生より時期が遅かったり、学習が思うように進まなかったりと悩むことが多いと思いますが、「公務員になりたい」という思いを持って最後までやり抜くことが大切だと思います。TACはそんな受験生を支えてくれるので、信じて上手く活用してください。絶対に力になってくれます。



五味 さやかさん(25)

全てが信頼できる TAC にして良かった

- * 出身校 明治学院大学 社会学部 卒業
- * 受講コース 総合本科生 2020年6月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
横浜市

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

前職の紳士服販売の仕事において、実際に様々な立場のお客様と接し、生活面での苦勞などのお話を聞いたり、休日に母が行っている高齢者の生活支援などの活動に実際に参加し、地域で孤立している人が増えている現状を知ったことで、より広く人々の生活基盤を支える公務員に興味を持ちました。また、国家公務員であった父や地方公務員の兄、横浜市職員である知人から直接話を聞くことで、自身の根本の性格や思いが公務員という仕事に合っていると考え、公務員を目指しました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

実際に TAC に通い、合格した知人にすすめてもらったことが一番の理由です。そこから他社と比較検討しましたが、無料ガイダンスでの丁寧な説明や、合格実績から分かる確かな信頼性などが魅力で TAC がベストだと思い選びました。

良かったところは、とにかく確実に合格するためのサービスが充実しているところです。自分に合った通い方を選択できる点、Web 講義で知識を補うことができる点は助かりました。そして何より、担任講師を始めとした講師陣の丁寧な指導や不安なことをいつでも相談できる点、過去の試験情報が充実している点が良いかったです。復元シートの豊富さは TAC にしかない良さだと思います。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校のおすすめポイントは、駅からも比較的近く通いやすい点です。25 階休憩室から見える景色が良く、お昼休憩の時はリフレッシュできました。横浜校は受付の方が接しやすい雰囲気なのも良かったです。担任の富田講師はとにかく一人ひとりと向き合い、時に優しく時に厳しく指導してくれました。どんな些細なことでも相談すると親身になって聞いてくださり、それぞれの時期に合わせて行われるホームルームでは充実した情報を得ることができました。入学した日から合格するその日まで、絶大な信頼を寄せることができます。

☞ 効率的学習方法

学習計画をしっかり立て、実践と修正を繰り返しながら学習していました。数的処理などの重要科目は必ず毎日時間を決め、V 問題集から抜粋して解いていました。得意科目や選択科目は何日かに一回は必ず解くと決め、学習していました。頭の働く午前中に計算のある数的処理や経済学、午後や夜に専門科目や一般知識の暗記物に取り組みました。

また、効率的な学習のため、息抜きの時間を必ず取りました。10 日に 1 日、全く学習しない日を設け、趣味の時間にあてました。そうすることで次の休息日まで本気で頑張ろうと思えるようになり、モチベーションを保つことができました。

☞ 択一試験対策

自分の得意・苦手科目を見極め、重点的に学習する科目とそうでない科目を吟味することが大切だと思います。私はとにかく数的処理が苦手でしたが、どの試験種でも最重要科目であり、避けては通れなかったため、苦手でも毎日触れ、V 問題集の A ランクをとにかく完璧に解けるように何周も繰り返しました。講義をとにかく集中して聞き、不明な点はどんな些細なことでも放置せず質問し、疑問をもった状態にしないことを心がけました。一般知識は出題数が少ないわりに範囲が広い科目もあり、自分の得意不得意分野と相談し、広く浅くを意識してメリハリをつけた学習をしないと時間ばかり取られてしまうと思います。

☞ 面接試験対策

TAC に豊富にある情報をフル活用するべきです。復元シートを全て確認し、受ける自治体の特徴を把握し、想定問答をつくりました。模擬面接はたくさん受けるに越したことはないとは思いますが、私は参加しすぎることによって回答が固まりすぎて本番に自分の言葉で話すことができなくなると思ったので、数回に留めました。これは個人によると思うので、いい塩梅を見極めるとよいと思います。また、グループ学習は面接官役を経験することができ、客観的に面接練習ができるため、参加して良かったです。転職する人は、どの試験種でも、必ずなぜ辞めてまで公務員へ転職したいのかを聞かれます。その点を明確にすることと、前職で学んだことをどう活かすのかをはっきりさせておくことが大切だと思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は、どれだけコツコツと努力してきたかで決まります。最後に「これだけやってきたのだから絶対大丈夫」と胸を張れるようになるまでやり抜ける人が合格します。正直最後まで不安な気持ちは消えませんが、その不安な気持ちを解消するには学習するしかないと常に思うようにしていました。仕事を辞めている人は後がないからと焦ってしまう時もあるかもしれませんが、そこで冷静になってやるべきことを一つひとつこなしていくことが合格へ繋がる道だと思います。そして TAC には、相談や質問をして嫌な顔をする講師は一人もいません。そんな実力の講師陣や TAC の確実なカリキュラム、今まで自分のやってきたことを信じて、最後まで頑張ってください！



田中 貴大さん(28)

短期間でもやれば受かる

- * 出身校 日本大学 法学部 卒業
- * 受講コース 総合本科生 2020年12月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
特別区I類
- 横浜市

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

社会人になり、様々な業務をしている中で、行政の重要性を感じたことが大きなきっかけです。公務員という仕事は学生の頃はデスクワークばかりでつまらなそうなイメージがありましたが、今では地方や国など様々な規模の中で多くの人々のために働ける、やりがいのある仕事だと気付きました。また転職という点で少し考えることもありましたが、自分の周りに転職し公務員として働いている人が多かったこともきっかけの一つでした。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

自分の周りで公務員を目指していた人が利用していたのがTACでした。実際に無料ガイダンスなどでも公務員試験学習に集中できると思い、通い始めました。

ただ教わるのではなく、どのように学習すればいいのか、どんなことをすればいいのかというところを教わりながら学習ができたことがよかったです。私は学習期間が短かったのですが、効率よく学習することができ、その点が合格につながったと思っています。学生の時ESの添削や面接練習など全くせずに就職活動に臨んでいてうまくいっていませんでしたので、今回はTACでしっかりと活動したことが良かったです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校は駅から近く、雨に濡れずに来ることができるのがおすすめです。また私は横浜市を第一志望にしていたのですが、やはり横浜校ということで同じ横浜市を目標に持っていた人が多く、そういった環境も良い方向に働きました。担任講師の方は話に説得力があり、アドバイスなども的確で、そのアドバイスに一生懸命取り組めば必ず合格に近づけるという印象を持ちました。TACに入る前から通っていた友人からいい講師だという話を聞いていたので、その印象どおりでした。ただ受講生からの信頼が厚いゆえ、ES提出時期などは担任カウンセリングなどを受けられないことがあるので、計画的に早め早めに取り掛かることで効率よくそういった制度を利用できると思います。

☞ 択一試験対策

私は受験年1月から学習を始めたこともあり、試験を特別区と横浜市に絞っていました。なので、択一は特別区の傾向や過去問を中心に学習を進めました。もし時間が足りないと思っている人は試験を絞って対策するのも作戦の一つかもしれません。担任講師の方とも相談をして、自分の今の実力や目標などからどのように学習すればいいか、何を重点的に学習すればいいかなどを明確にして進めていくことが大事だと思います。

特別区の対策としてはひたすら過去問を繰り返し解いていました。実際の試験では全く出なかった部分もありましたが、やってきた部分がしっかり取れたので合格できたと思います。特に時間が足りない人は満点を目指すのではなく、合格点を目指すという意識で学習することをおすすめします。

☞ 面接試験対策

面接試験対策は筆記試験が終わってから本格的にはじめました。自己分析や受験する自治体についてしっかり調べることから始め、それをいかに面接官に伝えられるかをグループワークや模擬面接で実践する流れで対策を進めました。面接は対人の試験なので、グループワークや模擬面接をしっかり活用したほうが良いと思います。話の内容や話し方など第三者の目で見ってもらうことで、自分では気づかないことに気づくことができます。

TACのいい点として、同じ目標を持った人たちと切磋琢磨してやることのできるがあると思います。特に面接対策では、グループワークに積極的に参加することが一番の対策になると思います。

☞ これから受験する人へ

私は受験年1月から学習を始めましたが、やっていたことは、もっと早く始めておけば良かったということです。科目数も多く、学習量がかなり必要になるので、公務員を目指したいと思っている人は早めに始めることをおすすめします。ただ短い学習期間でも、やるべきことをしっかりやって、明確な学習方針や目標を定めることで間違いなく第一志望に近づけることができるといっても実感しました。学習時間がある人もない人もそういった部分を意識できればいいと思います。

また学習をしていて不安になることは多々あると思います。自分一人で抱え込んだり、立ち止まるのではなくTACの講師の方などに相談して一步一步進んでいくことができれば、目標達成に近づけると思います。



田中 陽大さん(27)

働きながらでも大丈夫！

- * 出身校 明治大学 商学部 卒業
- * 受講コース 教養本科生 2020年7月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
東京都I類B

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

前職で働いている際、体調を崩して入院し、3か月ほど会社を休んでしまった時期がありました。

その時に、自分の人生について深く考える時間ができ、「今の仕事は本当に自分がやりたかったことだったのか？」「自分のやりたいことは本当は何なのか？」「世の中・社会・日本を良い方向に変えられるような仕事をしたい！」「それは公務員だ！」（少し安易かもしれませんが）と思うようになり、公務員を志望するようになりました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

私は既婚者だということもあり、家族を支えるという責任もあるので、会社を辞めて学習に専念するという選択肢はありませんでした。その中でTAC横浜校の無料ガイダンスを受けに行った際、横浜校担任の富田講師からの「仕事をしながらでも絶対に合格します。」という力強い言葉に惹かれ、TACに入学することにしました。

また、これは一次試験(筆記試験)合格後に知ることになるのですが、過去のTAC生が残してきてくれた、面接で何を聞かれたかを記録してある「面接復元シート」が充実していることが、TACの最も良いポイントの一つです。この「面接復元シート」がなければ、私は合格を掴み取ることはできなかったと思います。自分なりにその「面接復元シート」を分析し、想定問答集を作成し、過去のTAC生が質問された質問はすべて答えられるように準備をしてから面接本番に臨んだところ、想定通りの質問をいくつかされ、自信をもって回答することができたため、合格につながったと思っています。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

私が所属していたのは横浜校です。駅から傘なしで通学できるのが大きなメリットです。天気が悪い日でもTACに行って学習する気になります。また、コンビニやラーメン屋も同じ建物の中にありますので、昼食や夕食に困らなかったこともよかったです。

担任の富田講師は、経験・知識が豊富であるためとても頼りになる講師でした。時には受講生に対して厳しく接することもあり、それゆえ信頼できる講師だとも思っています。知ったかぶりをしないところも私にとっては安心できました。また、富田講師が他校舎よりも多頻度でホームルームを開いてくれることも横浜校の良さです。時期によって学習方法や時事問題対策のやり方は変わってきますが、ホームルームで都度、富田講師が指針を示してくれますので、「自分の学習方法は間違っていない」と安心して学習に励むことができました。

☞ 社会人の学習法

やはり大学生よりも学習時間がとれないことが社会人の最大のネックかと思います。ですので、学習時間を確保するために、それなりの覚悟は必要です。私はTACに入学してからは、土日・平日関わらず、毎日学習していました。仕事がある日は、定時に退勤できれば3時間は学習し、残業してしまった日でも絶対に1時間は学習しました。土日は朝9時にはTACに行き、18時までTACに入浸って学習をしました。とても大変でしたが、そのおかげで、東京都・横浜市の一次試験合格につながったと思っています。一方で、一次試験(筆記試験)を突破してしまえば、社会人は大学生より有利だと思います。社会人であれば、目上の人と会話する機会はたくさんあると思いますので、面接では大学生ほど緊張することも少ないと思います。また、社会人の経験は大学生の経験よりも実践的ですので、その“経験”を存分にアピールできれば、面接官から評価されやすいと思われます。

☞ これから受験する人へ

大学生の学習時間と自分の学習時間を比較して不安になることがあると思いますが、自分にとって全力を尽くしていれば、よい結果がついてくると信じてがんばってください！また、現職における業務も残業しない程度に全力で取り組んでみてください。そうすれば、面接でも自身をもって自分の経験をアピールすることができます。

最後になりますが、TACと富田講師と自分を信じて、筆記試験の学習、その先の面接対策に全力を尽くしてみてください。TACと富田講師の言うことを信じて実践していけば、自ずと合格を掴み取ることができます。



小松 勇斗さん(27)

TAC を信じて合格

- * 出身校 東京都市大学 環境情報学部 卒業
- * 受講コース 総合本科生 2020年7月入学
通学
- * 最も力を
入れた科目 憲法 政治学 ミクロ経済学

- * 最終合格試験種
特別区I類

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

友人が公務員試験に合格し、話を聞いている内に私も公務員を目指したいと考えるようになりました。そこから自分でも公務員はどのような仕事をしているのか調べていきました。民間企業ではできない仕事が多くあり、非常に魅力を感じたので公務員を目指しました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

きっかけは最初に友人が通って合格していた為、おすすめされたのとアドバイスを受けやすいと考えたからです。ただ自分に合っているかどうかはわからないので、最初はオリエンテーションや無料体験講義に参加してみました。そこで熱意ある説明、丁寧な物腰等、直感ですがここでなら合格を目指せると感じたのでTACを選びました。Web講義や担任講師のHR等、充実したカリキュラムがあった所も非常に良かったです。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

横浜校は駅直結の高層ビルの上層階でした。フロアは広く、教室も学習に集中できる環境になっているだけでなく、公務員の資料が多く置いてあるためモチベーションを高められました。息抜きしたいときは窓から横浜、みなとみらいの景色をみてリラックスをしていました。

担任講師の方には本当にお世話になりました。論文の添削から講義の熱意、ホームルームでモチベーションを高めることができました。担任講師の作成してくれた資料をもとに計画を立て学習を進めることで、合格できたと考えています。

☞ 択一試験対策

講義をしっかりと聞いて復習して、V問題集をひたすら解くことです。わからないところは講師に聞いて自分に落とし込んで、基本演習前はその科目をメインに学習していました。科目が多いので、定期的に学習科目に触れる必要があります。忘れることは仕方ないので、何度も問題を解いて覚えていく問題を増やしていけば大丈夫です。V問題集以外の教材に手を出す必要はほとんどありません。実績ある予備校が厳選した問題集です。これ以上の教材はないと思います。

☞ 社会人の学習法

社会人は圧倒的に勉強時間が無いので、できるだけ早い段階で自分が行きたい所を見つけられると学習の効率が良くなると思います。私は最初から特別区か横浜市に絞っていたので、特別区の対策が終わったら横浜市の対策をしようと考えました(2ヵ月位期間が空くため)。なので、特別区に受かる為に必要な学習科目は何か、自分の得意科目、苦手科目をあぶり出し、時には1つの科目を諦めて違う科目に費やすなど戦略的に学習をしました。きついと思いますが、いつもより早起きして1時間でも学習できると、後々大きく変わってきます。仕事と試験対策のエンドレスで精神的にきついと思いますが、息抜きしながら学習することが大事だと思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は思っている以上に長丁場です。時にはモチベーションが下がってしまうかもしれませんが、そういう時は思いっきり休んでリフレッシュすることも大切だと思います。ずっと学習を続けられる人は凄いですが、私はそういうタイプではありませんでした。なので、メリハリをつけて学習する事を大切にしていました。午後遊ぶ代わりに早起きをして学習して、遊んで帰って学習等、時間の使いようだと思います。理解のある友人が多かったので、途中で帰る時も応援してくれたので、励みになっていました。

試験間近になると不安からネットの情報を鵜呑みにしやすくなる方もいますが、気にしないでください。～だから落ちる～は受からない等、根拠のない言葉が多くあります。はっきりいえば関係ないです。有益な情報も一部あるので、上手に取捨選択をして不安なら講師に相談しましょう。それが一番安心で確実な情報です。

諦めずに学習し続ければ合格できると思います。私はこんなに長丁場で学習したことがなく、辛かったですが、合格を目指して諦めず学習し続けることで合格することができました。最後まで諦めずに学習を頑張ってみてください。

TAC